

総合戦略 K P I 一覧・効果検証シート

〔目次〕

基本目標 1 . . . 3 ページ～ 4 5 ページ

基本目標 2 . . . 4 6 ページ～ 6 0 ページ

基本目標 3 . . . 6 1 ページ～ 7 9 ページ

基本目標 4 . . . 8 0 ページ～ 8 5 ページ

総合戦略効果検証シート 基本目標1

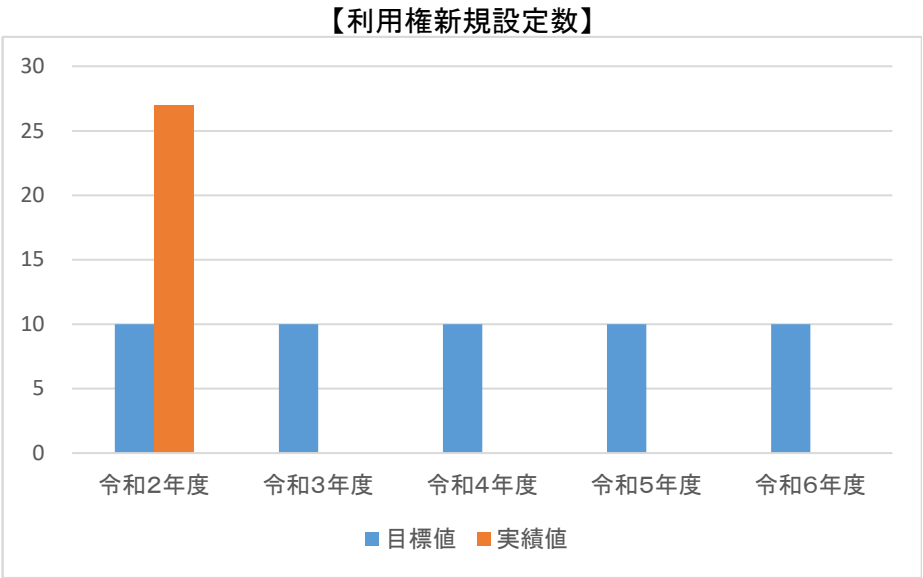
基本目標1 産業活性化と安定した雇用を創出する

基本的方向	連番	担当課	具体的な施策(詳細)	R2目標値	R2実績値	総合評価	R6(最終年度)時点	単位	累計
(1)地産の強化を図る (ア)農業の振興を図る	1	産業経済課	利用権新規設定数	10件	27件	◎	10	件	
	2	産業経済課	農地中間管理機構利用数 出し手	5件	2件	△	5	件	
	3	産業経済課	農地中間管理機構利用数 出し手	1ha	0.45ha	△	1.0	ha	
	4	産業経済課	農地中間管理機構利用数 受け手	3件	1件	△	3	件	
	5	産業経済課	農地中間管理機構利用数 受け手	1.2ha	0.25ha	△	1.2	ha	
	6	産業経済課・吾北産業課	中山間地域等直接支払集落協定締結数	18集落	17集落	△	18	集落	
	7	産業経済課・吾北産業課	中山間地域等直接支払集落協定面積	1,448,032m ²	1,192,587m ²	△	1,448,032	m ²	
	8	産業経済課	多面的機能支払対象組織数	2組織	2組織	○	2	組織	
	9	産業経済課・吾北産業課	集落営農組織数	12組織	11組織	△	12	組織	
	10	吾北産業課	作業受託面積	15ha	19ha	◎	15	ha	
	11	産業経済課	農業次世代人材投資資金(経営開始型) 夫婦型	1組	0組	△	3	組	○
	12	産業経済課	農業次世代人材投資資金(経営開始型) 単独型	1組	0組	△	7	名	○
	13	産業経済課	高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 生姜	255,000千円	291,450千円	◎	255,000	千円	
	14	産業経済課	高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 里芋・白芽芋	6,025千円	3,513千円	△	6,028	千円	
	15	吾北産業課	高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 柚子	35,000千円	31,914千円	△	35,000	千円	
	16	吾北産業課	高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 わさび	4,500千円	3,610千円	△	4,500	千円	
	17	本川産業建設課	本川きじの販売額	32,927千円	14,210千円	△	32,927	千円	
	18	吾北産業課	森の小さなお菓子屋さん	110%	87%	△	110	%	
	19	吾北産業課	吾北物産出荷協議会の売上	105%	90%	△	105	%	
	20	産業経済課	有害鳥獣捕獲数	2,400頭	1,900頭	△	2,400	頭(羽)	
	21	産業経済課	電気柵設置数	40件	59件	◎	40	件	
	22	産業経済課・吾北産業課・本川産業建設課	狩猟免許取得補助数	10件	10件	○	10	件	
	23	産業経済課・吾北産業課	新規就農者数	4人	1人	△	20	人	○
	24	産業経済課・吾北産業課	新規就農研修生	2人	1人	△	6	人	○

(イ)林業の振興	25	森林政策課	原木生産量	-	27,630m ³	評価なし	50,000	m ³ 以上	
	26	土木課・吾北建設課・本川産業経済課	林道整備(開設)	1,400m	1,171m	△	4,000	m	
(ウ)ものづくりや地元産業の振興	27	産業経済課	新規立地件数(H24～H27 累計)	-	0件	評価なし	1	件	○
	28	産業経済課	中心市街地 新規開業事業所数	2事業所	2事業所	○	7	事業所	○
	29	産業経済課	伊野製紙工業会会員の売上	23,000百万円	23,108百万円	◎	23,000	百万円	
	30	産業経済課	高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上	1,700万円	747万円	△	1,700	万円	
	31	産業経済課	手すき職人数	7人	6人	△	7	人	
(エ)地産地消の徹底	32	産業経済課、吾北産業課、本川産業建設課	直販店の販売額	27,270万円	25,400万円	△	27,270	万円	
	33	教育委員会	学校給食の食材における地場産物の活用割合(食品数ベース)	65%	62%	△	65	%	
(2)外商の強化を図る	34	産業経済課	体験型プログラム参加人数	26,599人	14,489人	△	30,440	人	
	35	産業経済課	体験料収入	50,799千円	32,065千円	△	59,903	千円	
(3)雇用の創出を図る	36	産業経済課	新規就農者数	4人	1人	△	20	人	○
	37	産業経済課	新規就農研修生	2人	1人	△	6	人	○
	38	森林政策課	新規林業就業者	-	5人	評価なし	15	人	○
	39	森林政策課	新規林業就業者への研修支援	-	12人	評価なし	55	人	○
	40	総合政策課	大学等との連携した事業展開検討	3件	2件	△	3	件	

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	利用権新規設定数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★利用権新規設定数		10	件	6	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	10	10	10	10	10	件
実績値	27					件
目標に対する達成率	270%					単年度目標
基準値に対する増減率	350%					
評価	◎					
PLAN: 取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	目標数を大幅に超える結果となった。					
CHECK: 分析	窓口や現地での相談、地元説明会での周知により目標達成したと思われる。					
ACTION: 今後の対応	引き続き各説明会等により周知を行い、目標数値達成を図る。					

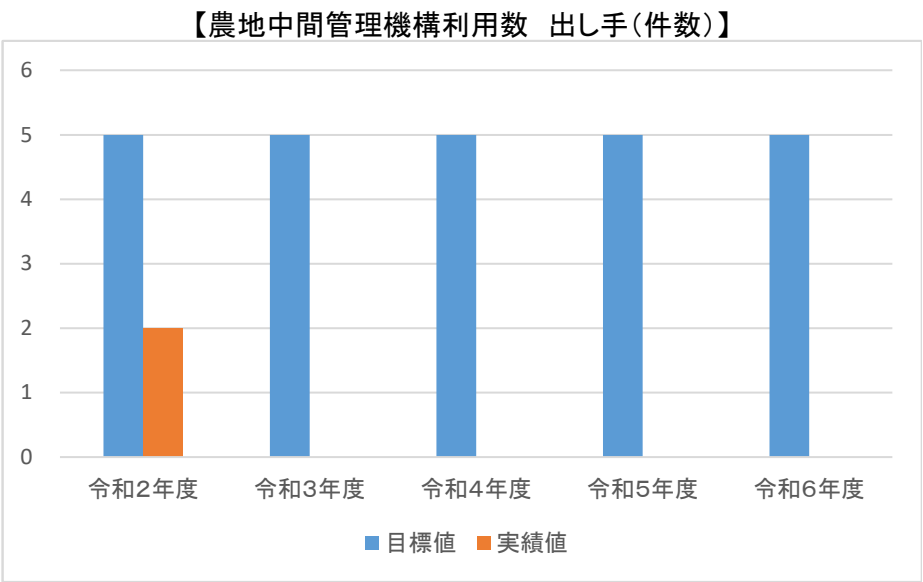
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	① 農地の保全管理					
項目	★ 農地中間管理機構利用数 出し手(件数)					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 出し手(件数)		5	件	0	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	5	5	5	5	5	件
実績値	2					件
目標に対する達成率	40%					単年度目標
基準値に対する増減率	200%					
評価	△					
PLAN:取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	相続による農地の取得で相談を受けたが申請は2件となった。					
CHECK:分析	相談件数は多かったが機構の借受基準にそぐわない案件や耕作者に伝手がある場合が多く、利用権設定の対応となった。					
ACTION:今後の対応	引き続き各説明会等により周知を行い、目標数値達成を図る。					

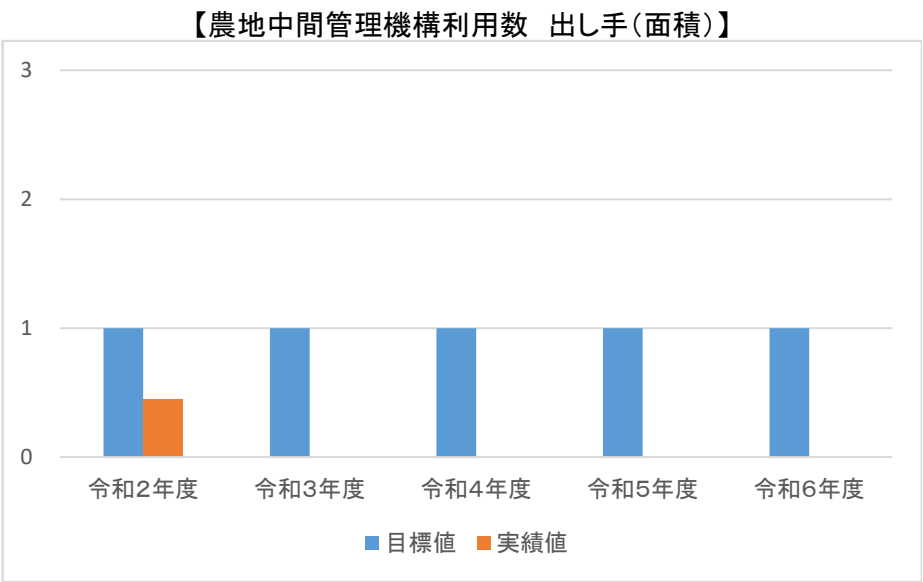
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	農地中間管理機構利用数 出し手(面積)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 出し手(面積)	1	ha	0	ha	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1	1	1	1	1	ha
実績値	0.45					ha
目標に対する達成率	45%					単年度目標
基準値に対する増減率	45%					
評価	△					
PLAN:取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	相続による農地の取得で相談を受けたが申請は2件となった。					
CHECK:分析	相談件数は多かったが機構の借受基準にそぐわない案件や耕作者に伝手がある場合が多く、利用権設定の対応となった。					
ACTION:今後の対応	引き続き各説明会等により周知を行い、目標数値達成を図る。					

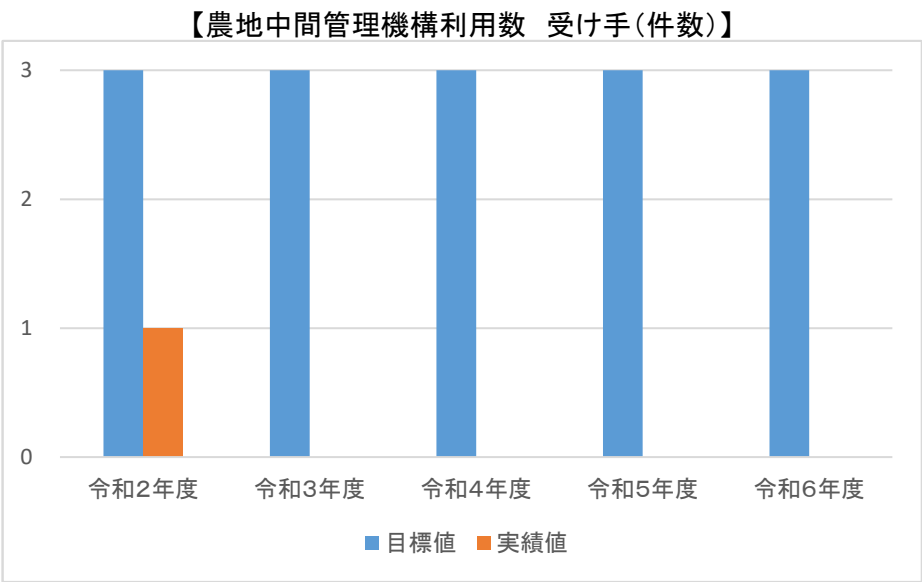
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	農地中間管理機構利用数 受け手(件数)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 受け手(件数)	3	件	0	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	3	3	3	件
実績値	1					件
目標に対する達成率	33%					単年度目標
基準値に対する増減率	100%					
評価	△					
PLAN:取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	窓口での相談は何件かあったが成立は1件であった。					
CHECK:分析	貸し手と借り手の希望する土地がマッチングしなかったためと思われる。					
ACTION:今後の対応	引き続き各説明会等により周知を行い、目標数値達成を図る。					

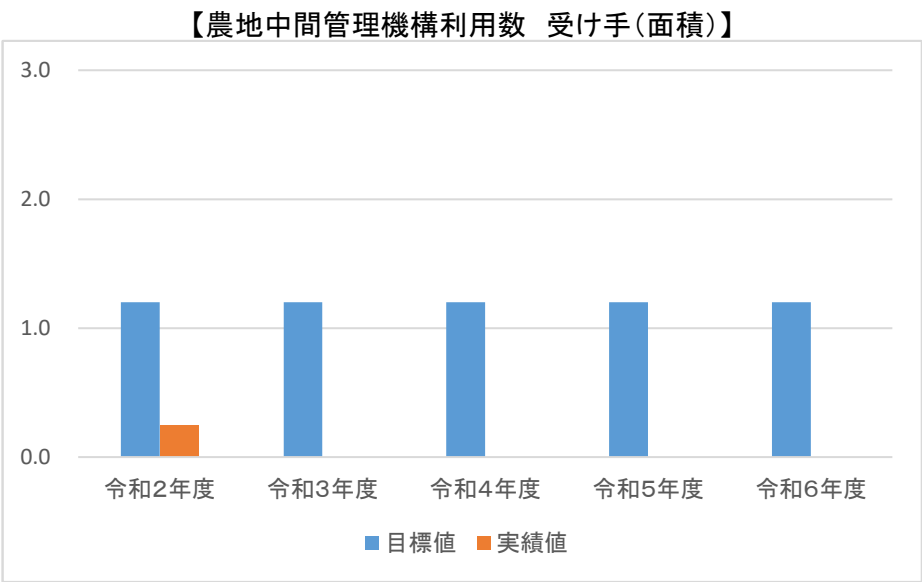
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	農地中間管理機構利用数 受け手(面積)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 受け手(面積)	1.2	ha	0	ha	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	ha
実績値	0.25					ha
目標に対する達成率	21%					単年度目標
基準値に対する増減率	25%					
評価	△					
PLAN:取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	窓口での相談は何件かあったが成立は1件であった。					
CHECK:分析	貸し手と借り手の希望する土地がマッチングしなかったためと思われる。					
ACTION:今後の対応	引き続き各説明会等により周知を行い、目標数値達成を図る。					

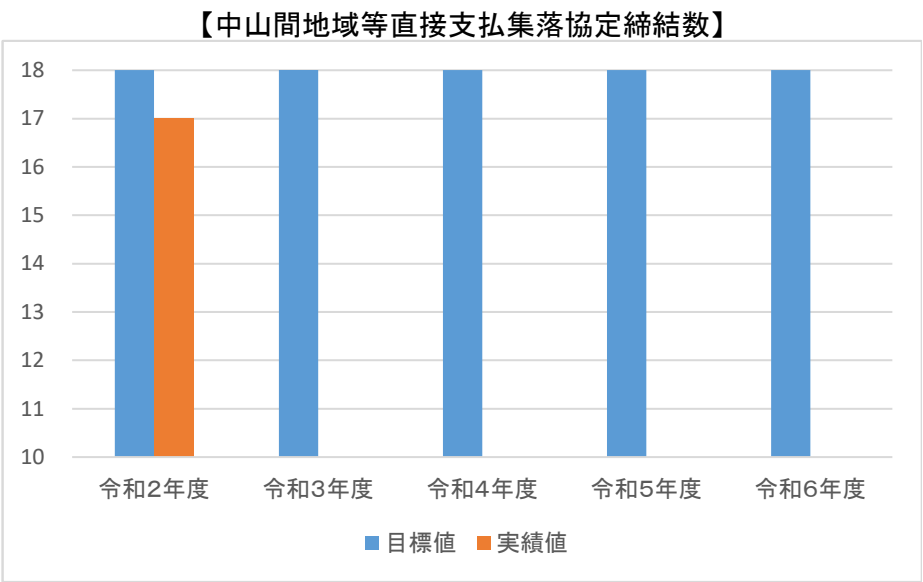
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	中山間地域等直接支払集落協定締結数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★中山間地域等直接支払集落協定締結数	18	集落	20	集落	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	18	19	18	18	18	集落
実績値	17					集落
目標に対する達成率	94%					単年度目標
基準値に対する増減率	-15%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	中山間地域における生産条件に関する不利を補正すると共に農業・農村の有する多面的機能の発揮を維持・促進するため、四期対策で撤退した集落協定を中心に集落活動に対する意向を聴取し、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	四期対策参加の集落に対し五期対策参加の意向を聞き取りながら、協定書等の作成支援を実施することによって参加の際の事務負担軽減に取り組んだが、目標値には届かなかった。					
CHECK: 分析	条件不利地域における農業生産条件の不利を補正することを目的の一つとする制度であるが、高齢化や流出等による人口減少の抑制に影響を及ぼすまでの効果はなく、集落活動の維持が困難になっているものと考えられる。					
ACTION: 今後の対応	現在の農村政策は、農業振興・産業振興の視点だけでなく地域づくり・地域振興の観点で政策を進める方向へ舵を切ろうとしているため、今後は移住分野や地域支援企画員とも連携を図りながら協定を牽引する担い手の確保に努めていく。					

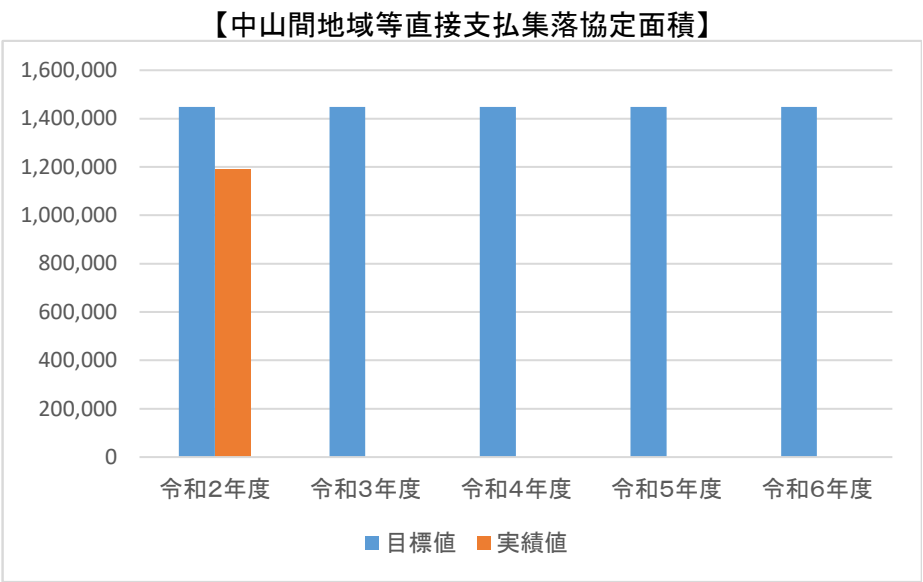
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	中山間地域等直接支払集落協定面積				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★中山間地域等直接支払集落協定面積		1,448,032	m ²	1,520,900	m ²
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1,448,032	1,448,032	1,448,032	1,448,032	1,448,032	m ²
実績値	1,192,587					m ²
目標に対する達成率	82%					単年度目標
基準値に対する増減率	-22%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	中山間地域における生産条件に関する不利を補正すると共に農業・農村の有する多面的機能の発揮を維持・促進するため、四期対策で撤退した集落協定の農地や担い手を、5期対策の参加協定に取り組み、目標値の達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	各協定に追加農地の確認を行い、対象農地の拡大に努めた。					
CHECK: 分析	4期対策から三協定が解散したことによって対象農地が大幅に減少し、令和元年度の実績面積の8割程度に留まっている。					
ACTION: 今後の対応	現在の農村政策は、農業振興・産業振興の視点だけでなく地域づくり・地域振興の観点で政策を進める方向へ舵を切ろうとしているため、今後は移住分野や地域支援企画員とも連携を図りながら協定を牽引する担い手の確保に努め、対象農地の拡大に努めていく。					

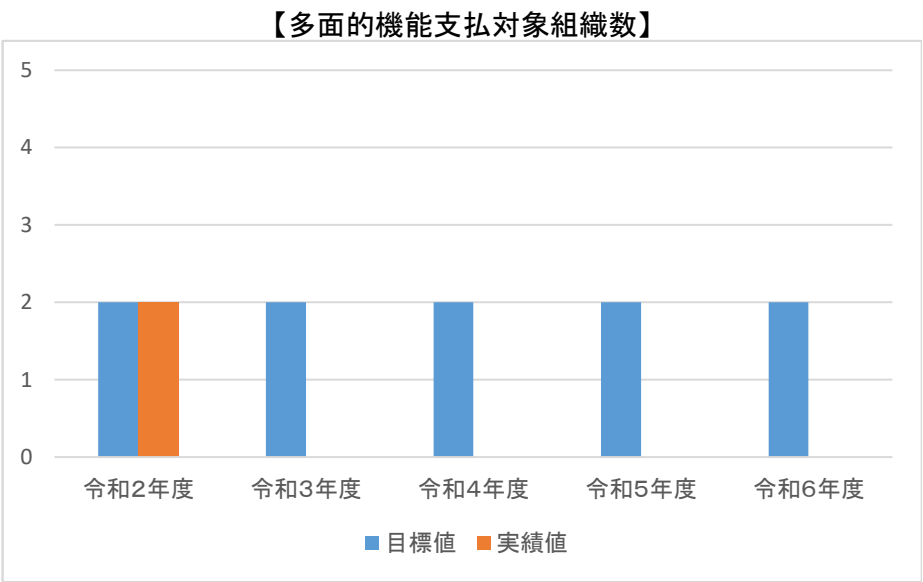
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	多面的機能支払対象組織数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★多面的機能支払対象組織数	2	組織	3	組織	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	2	2	2	組織
実績値	2					組織
目標に対する達成率	100%					単年度目標
基準値に対する増減率	-33%					
評価	○					
PLAN: 取組内容	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を支援 (多面的機能支払制度)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	1組織が活動の継続を取り止めた。					
CHECK: 分析	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を行うことができたものの、活動を行うにあたり地域リーダーの不在や高齢化が原因となっている。					
ACTION: 今後の対応	今後も引き続き、個別の説明会の開催などにより活動組織の増加を図る。 また現在活動している組織の面積、交付金額の増を目指す。					

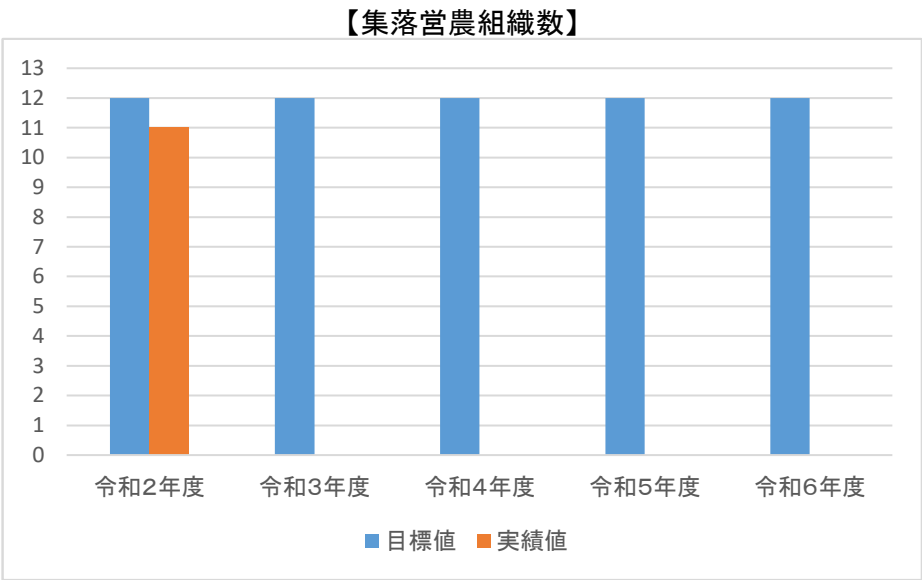
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

基本目標	1産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1)地産の強化を図る					
具体的な施策	ア農業の振興					
	①農地の保全管理					
項目	★集落営農組織数					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★集落営農組織数		12	組織	11	組織
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	12	12	12	12	12	組織
実績値	11					組織
目標に対する達成率	92%					単年度目標
基準値に対する増減率	0%					
評価	△					
PLAN:取組内容	定例会等に参加し、そこで持ち上がった課題や活動方針に対しサポートを行い、組織の存続に取り組む。 また、県の農業振興センターと協力し、組織発足を希望する集落の掘り起こしを行う。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	現組織の存続に留まった。					
CHECK:分析	各組織とも高齢化、リーダー不足が課題である。					
ACTION:今後の対応	まずは、現在の組織存続に重点を置く。そのために各組織ごとで可能な範囲での活動や存続に向けて今後の担い手となる認定農業者、認定新規就農者を中心に若手リーダーの発掘に努める。					

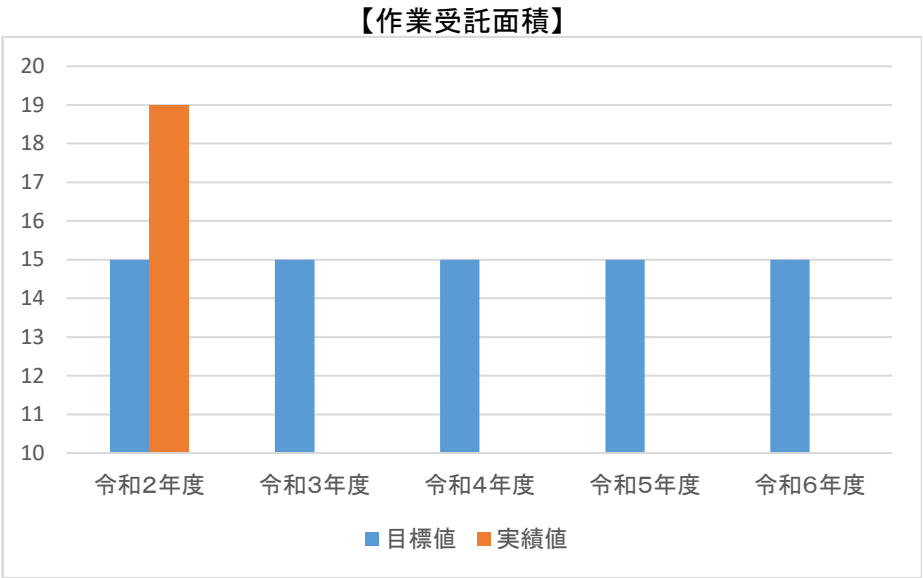
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	① 農地の保全管理					
項目	★ 作業受託面積					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★作業受託面積		15	ha	15.9	ha
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	15	15	15	15	15	ha
実績値	19					ha
目標に対する達成率	127%					単年度目標
基準値に対する増減率	19%					
評価	◎					
PLAN: 取組内容	地域農業の維持及び活性化に向けて集落営農組織等を育成し、併せて農業生産の共同活動に取り組む集落営農組織の機械設備等への支援を行うことにより、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	H31.1に法人化した農事組合法人上東で実施されており、令和2年度の作業受託面積は19.13haとなった。					
CHECK: 分析	田植から稲刈まで、ほぼ全ての作業において受託面積が増加した。 高齢等の理由により耕作できなくなった農地がでてきているため、受託作業だけではなく、法人で農地を借り受け農地を保全する必要がある。					
ACTION: 今後の対応	農地の貸借契約や農業機械の更新計画等、農協、県農業振興センターと連携し支援していく。					

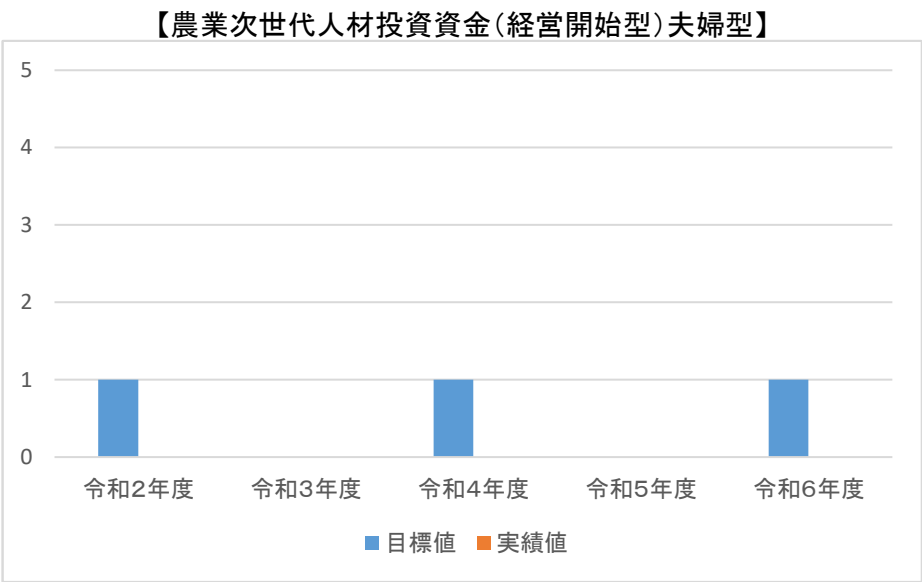
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	1産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1)地産の強化を図る					
具体的な施策	ア農業の振興					
	②農業経営安定化の推進					
項目	★農業次世代人材投資資金(経営開始型)夫婦型					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農業次世代人材投資資金(経営開始型)夫婦型		3	組	3	組
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1	0	1	0	1	組
実績値	0					組
目標に対する達成率	0%					累計目標
基準値に対する増減率	-100%					
評価	△					
PLAN:取組内容	■新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援(新規就農者支援事業)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	夫婦による新規就農者0組					
CHECK:分析	夫婦による新規就農希望者がいなかった					
ACTION:今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努める					

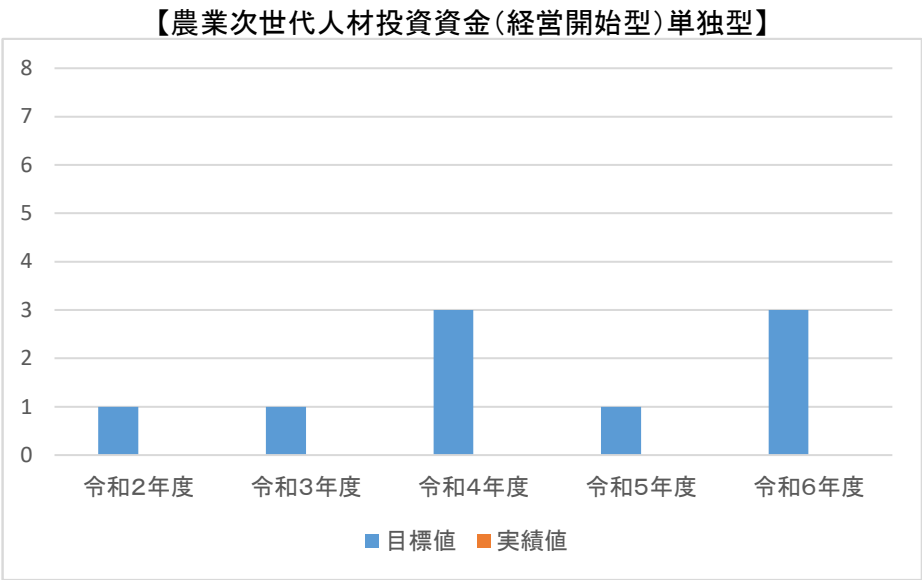
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 農業経営安定化の推進					
項目	★ 農業次世代人材投資資金(経営開始型)単独型					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農業次世代人材投資資金(経営開始型)単独型		7	組	1	組
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1	1	3	1	3	組
実績値	0					組
目標に対する達成率	0%					累計目標
基準値に対する増減率	-100%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	■ 新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援(新規就農者支援事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	単独により新規就農者0名					
CHECK: 分析	ヒアリング等行ったが、制度活用するにあたって要件があわず、制度活用に至らなかった。					
ACTION: 今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努める					

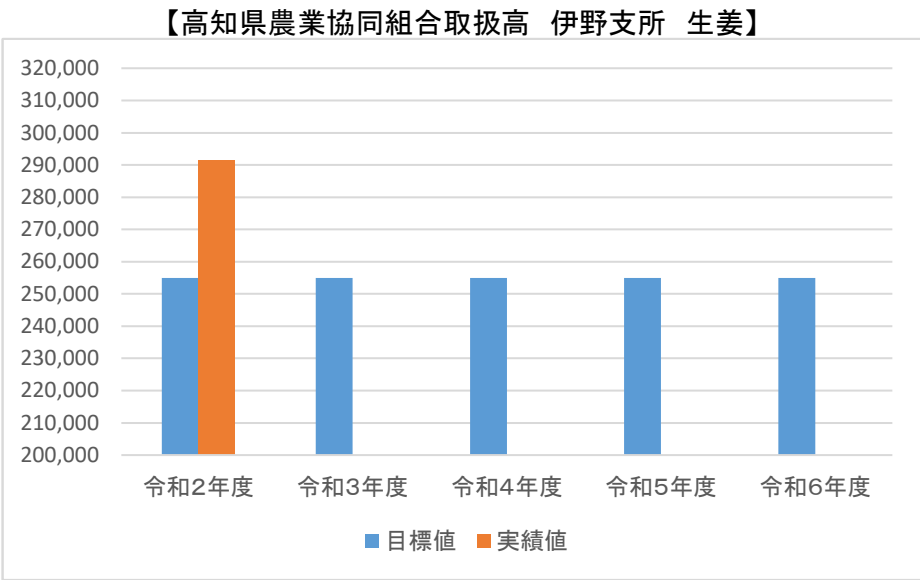
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 農業経営安定化の推進					
項目	★ 高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 生姜					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 生姜		255,000	千円	311,403	千円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	255,000	255,000	255,000	255,000	255,000	千円
実績値	291,450					千円
目標に対する達成率	114%					単年度目標
基準値に対する増減率	-6%					
評価	◎					
PLAN: 取組内容	生姜については、部会での研修会を開催しよりよい栽培方法などを検討し、単価増を図り、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	目標値を上回ることが出来た。					
CHECK: 分析	栽培講習会等により生産者の意識向上を継続して図っていることが目標達成の要因と考えられる。					
ACTION: 今後の対応	今後も、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら栽培講習会や先進地視察により出荷量の向上に努め生産額の向上を図る。					

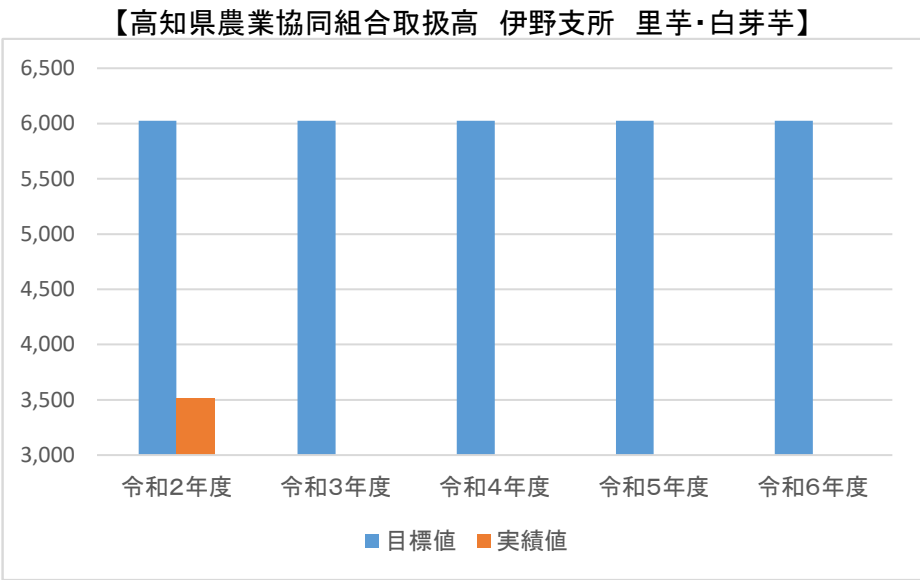
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 農業経営安定化の推進					
項目	★ 高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 里芋・白芽芋					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 里芋・白芽芋		6,025	千円	6,023	千円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	6,025	6,025	6,025	6,025	6,025	千円
実績値	3,513					千円
目標に対する達成率	58%					単年度目標
基準値に対する増減率	-42%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	里芋等については、部会での研修会を開催し新しい販売方法等を検討し、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	目標値を上回ることができなかった。					
CHECK: 分析	栽培面積が減少したことが大きな原因である。					
ACTION: 今後の対応	今後も、栽培講習会や販売促進研修により出荷量の向上に努め生産額の向上を図る。					

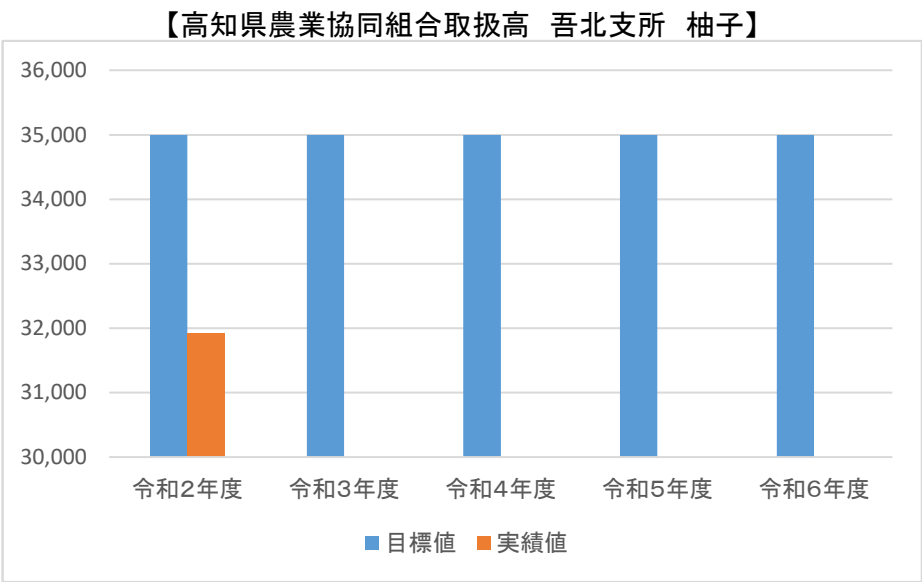
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	目標値に対し、達成率が約6割程度となった理由は？ ↓ [回答]昨年度は新型コロナウイルスの影響で市場の状況が把握できなかったため、取扱高が伸び悩んだもの。
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 農業経営安定化の推進					
項目	★ 高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 柚子					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 柚子		35,000	千円	42,643	千円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	千円
実績値	31,914					千円
目標に対する達成率	91%					単年度目標
基準値に対する増減率	-25%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	柚子部会で研修会を開催し、玉出出荷を励行することにより、単価増を図り、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	出荷額は31,914千円となった。					
CHECK: 分析	生産量は例年並みであったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、単価が大きく下がり目標額を下まわった。					
ACTION: 今後の対応	今後も、研修会や先進地視察等により玉出率の向上に努める。 また、生産性の向上を図るため、県果樹試験場のトゲの少ない優良系統苗の導入を検討する。					

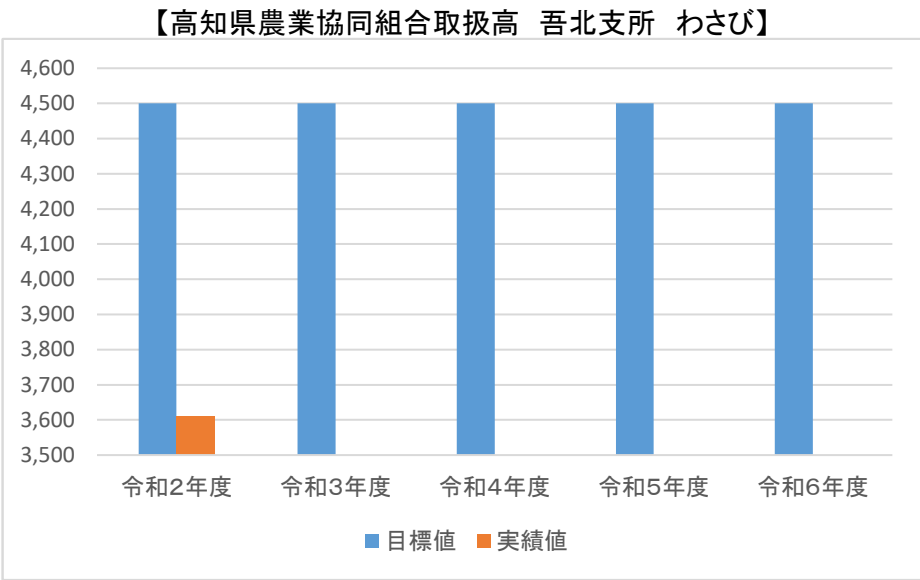
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 農業経営安定化の推進					
項目	★ 高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 わさび					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 わさび		4,500	千円	3,909	千円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	千円
実績値	3,610					千円
目標に対する達成率	80%					単年度目標
基準値に対する増減率	-8%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	新規栽培者の開拓を提案型担い手確保対策とも絡めて行い、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	出荷額は3,610千円となった。					
CHECK: 分析	初期の活着は良かったものの、生育期後半の気温が低く4月には雪が降る日もあった事などから生育に大きな影響があり、前年収量を下回った。また、土壌ECが高い圃場もあった。					
ACTION: 今後の対応	農協、県農業振興センターと連携し、定植前に土壌診断を行い、しっかりとした施肥設計を行うなど対策を講じていく。					

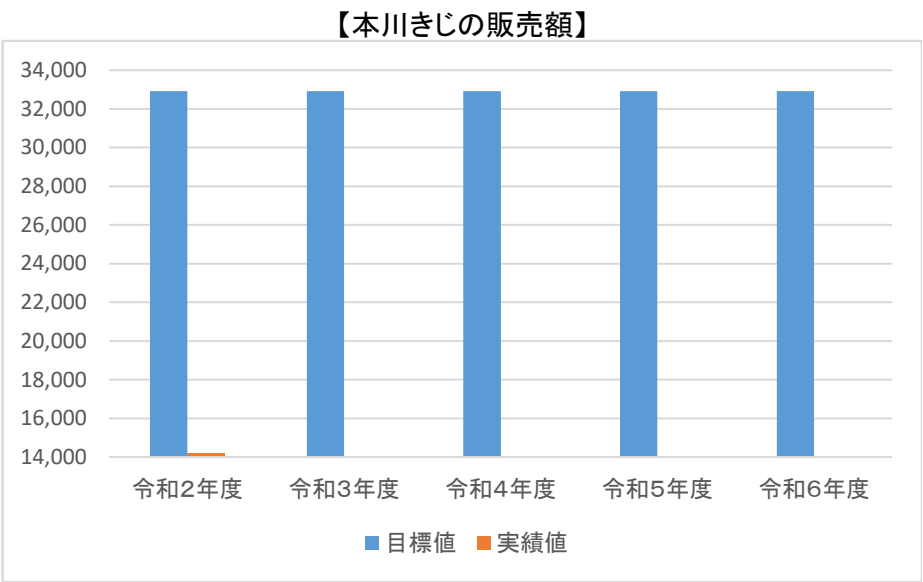
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 農業経営安定化の推進					
項目	★ 本川きじの販売額					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
本川産業建設課	★本川きじの販売額		32,927	千円	14,859	千円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	32,927	32,927	32,927	32,927	32,927	千円
実績値	14,210					千円
目標に対する達成率	43%					単年度目標
基準値に対する増減率	-4%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	いの町本川地区の特産品である「本川きじ」の販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品の開発に取り組み、中山間地域の基幹産業として定着させる。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	新型コロナウイルスの影響を受け需要が落ち込んでいることもあり、目標を達成には至らなかった。					
CHECK: 分析	令和2年度の販売額は新型コロナウイルスの影響を受け、需要が少なかったこともあり、対前年度に対し649千円の減額となっている。					
ACTION: 今後の対応	「高知県版HACCPステージ3」の取得し、安全・安心なキジ肉の提供に取り組み、個人消費者へのアプローチと外商の販路拡大を目指す。 また、令和2年度は1,500羽の飼育羽数であったが、令和3年度は3,000羽の飼育羽数を計画しており、安定した生産体制を確立するため、飼育担当人材の確保、育成に継続して取り組む。					

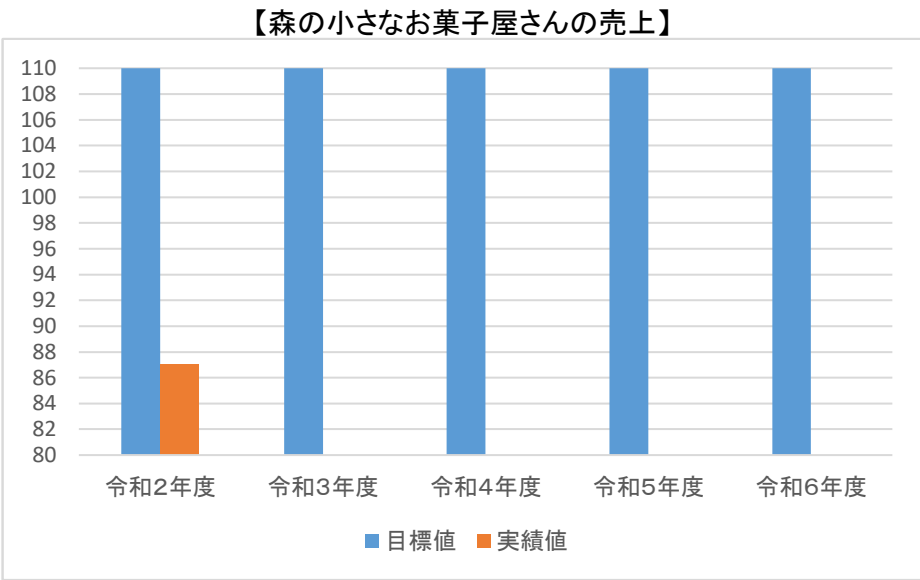
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 農業経営安定化の推進					
項目	★ 森の小さなお菓子屋さんの売上					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★森の小さなお菓子屋さんの売上		110	%	100	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	110	110	110	110	110	%
実績値	87					%
目標に対する達成率	79%					単年度目標
基準値に対する増減率	-13%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	新商品の開発や既存商品の見直し、SNSによる情報発信により、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和元年度売上: 11,348千円を基準値100%とする。 令和2年度売上: 9,929千円 実績値87%					
CHECK: 分析	道の駅633美の里直販所で販売される農産物を使用した新商品の販売、SNSによるPRを行ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、前年比は90%となった。					
ACTION: 今後の対応	新商品の開発やSNSによる情報発信を継続し、売上増を目指す。					

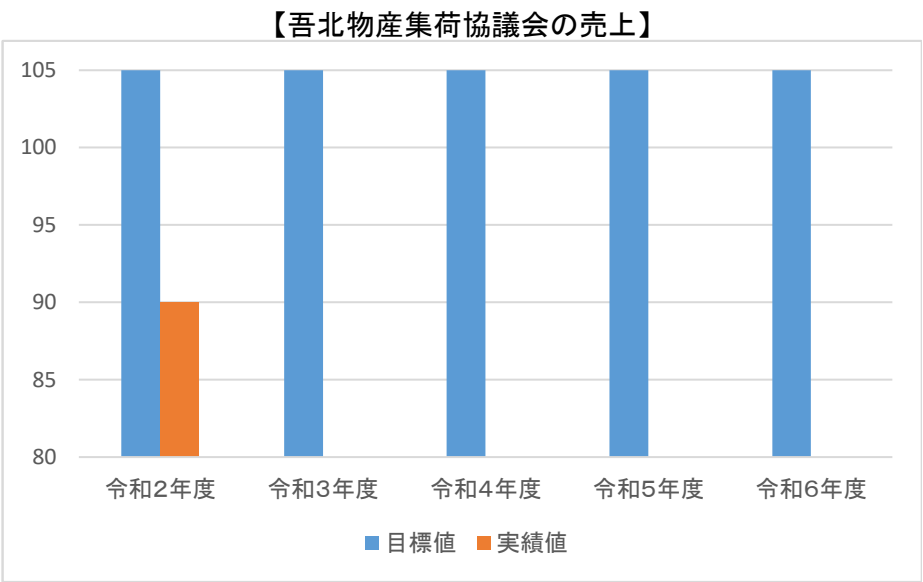
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 農業経営安定化の推進					
項目	★ 吾北物産集荷協議会の売上					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★吾北物産集荷協議会の売上		105	%	100	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	105	105	105	105	105	%
実績値	90					%
目標に対する達成率	-14%					単年度目標
基準値に対する増減率	-10%					
評価	△					
PLAN:取組内容	県農業振興センター、JA高知県吾北支所等関係機関の指導のもと、道の駅633美の里の売上が落ち込む冬季に販売(栽培)可能な有望品目を検討する。 また、吾北地区で就農を希望する就農前後の青年新規就農者に対しての補助、JA・県・町等の関係機関の連携によるサポートにより、地区の担い手を確保する。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	令和元年度 66,674千円を基準値100%とする。 令和2年度 60,030千円 実績値90%					
CHECK:分析	販売高は長い期間で見れば伸びてきているが、地域の高齢化に伴い出荷者数が減少してきている。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、売上は前年比で90%となった。					
ACTION:今後の対応	POSシステムを活用するなど、栽培品目・販売方法について出荷者に対して分かりやすい情報提供をする。また、吾北地区で就農を希望する就農前後の青年新規就農者に対しての補助、JA・県・町等の関係機関の連携によるサポートを引き続き行い、地区の担い手を確保する。					

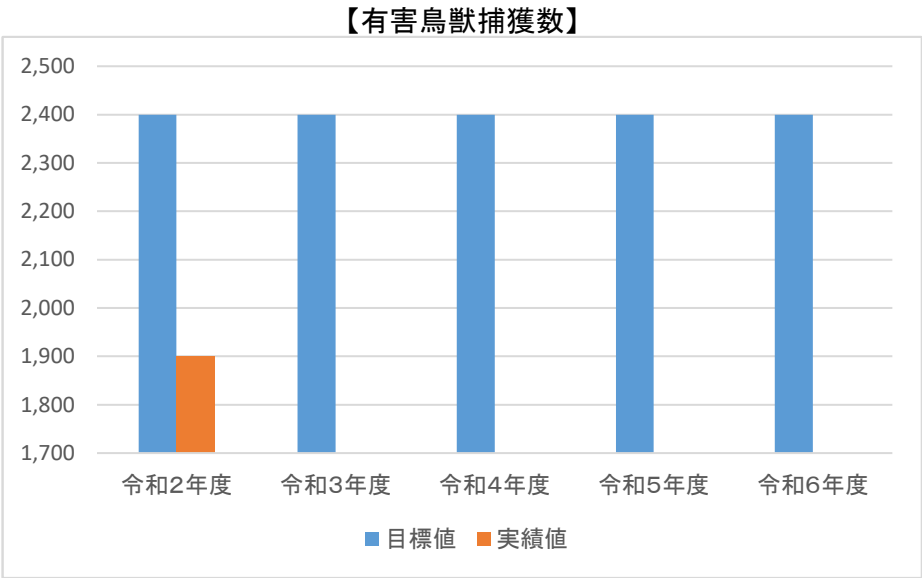
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 農業経営安定化の推進					
項目	★ 有害鳥獣捕獲数					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★有害鳥獣捕獲数		2,400	頭(羽)	2,156	頭(羽)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	頭(羽)
実績値	1,900					頭(羽)
目標に対する達成率	79%					単年度目標
基準値に対する増減率	-12%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	野生鳥獣による農林作物の被害対策として、対象有害鳥獣の捕獲に交付金・報償金を交付する。 (鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業・有害鳥獣捕獲に関する報償金)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	イノシシ695頭、サル174頭、カラス686羽、シカ196頭、ハクビシン102頭、アナグマ47頭を捕獲したが 前年比率約88%となり、目標値も下回った。					
CHECK: 分析	目標値を下回った要因としては捕獲者の高齢化や人材の減少があげられる。					
ACTION: 今後の対応	猟友会等更なる連携を行い、捕獲する人材の確保、周知に努める。					

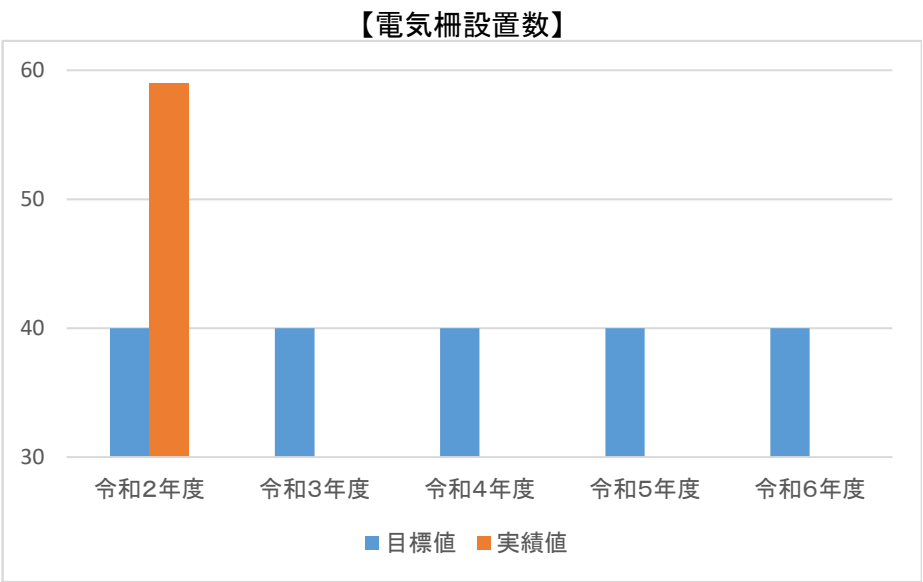
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 農業経営安定化の推進					
項目	★ 電気柵設置数					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★電気柵設置数		40	件	46	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	40	40	40	40	40	件
実績値	59					件
目標に対する達成率	148%					単年度目標
基準値に対する増減率	28%					
評価	◎					
PLAN: 取組内容	農業者等、または狩猟者等が被害防止のためのトタン・電気柵等及び有害鳥獣の捕獲に必要な檻の購入費を補助(鳥獣被害緊急対策事業、鳥獣被害対策支援総合補助金)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	目標値を上回る59件の実績があった。					
CHECK: 分析	口頭・広報による周知を行い、目標値を上回ったと考えられる。昨年と比較し13件増加した。					
ACTION: 今後の対応	さらなる周知に努め、防除による被害対策を進めていく。					

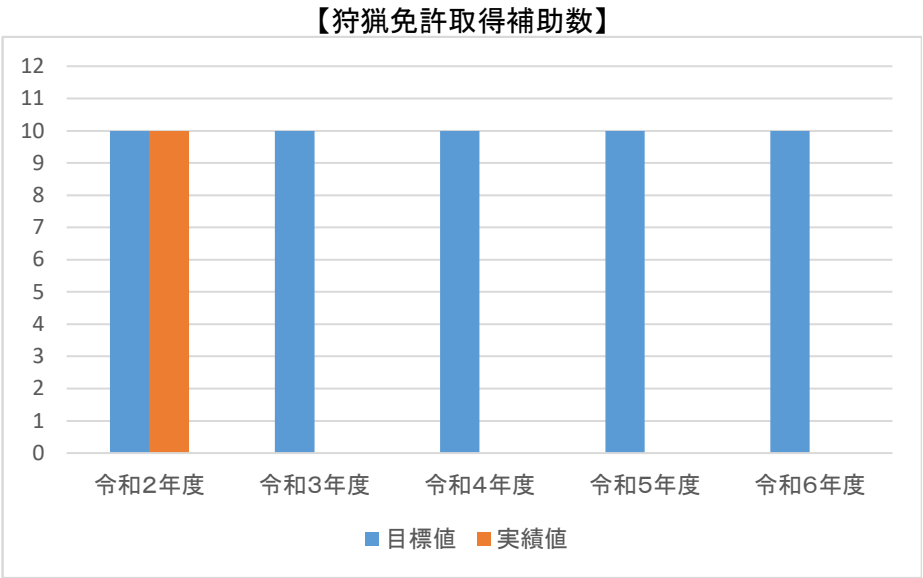
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 農業経営安定化の推進					
項目	★ 狩猟免許取得補助数					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課・ 本川産業建設課	★ 狩猟免許取得補助数		10	件	8	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	10	10	10	10	10	件
実績値	10					件
目標に対する達成率	100%					単年度目標
基準値に対する増減率	25%					
評価	○					
PLAN: 取組内容	農林水産物被害対策として、鳥獣を捕獲するために必要な狩猟免許の取得経費を補助 (狩猟免許取得補助金)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	目標値と同数の実績となった。					
CHECK: 分析	ポスター掲示や広報による周知により、目標値を達成したと思われる。					
ACTION: 今後の対応	引き続き広報等を活用し、事業周知に努める。					

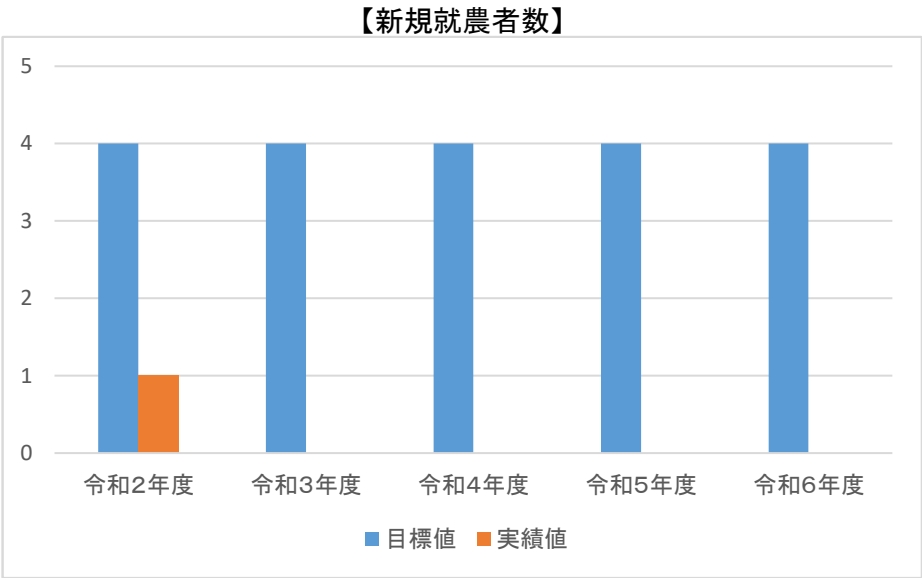
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 担い手等の確保・育成					
項目	★ 新規就農者数					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★新規就農者数		20	人	2	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	4	4	4	4	4	人
実績値	1					人
目標に対する達成率	25%					累計目標
基準値に対する増減率	-50%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	■ 新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援(新規就農者支援事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	伊野地区1名が就農した					
CHECK: 分析	農地の確保や、資金の確保がむずかしく、就農につなげることができなかった。					
ACTION: 今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努めるとともに、支援をおこなっていく					

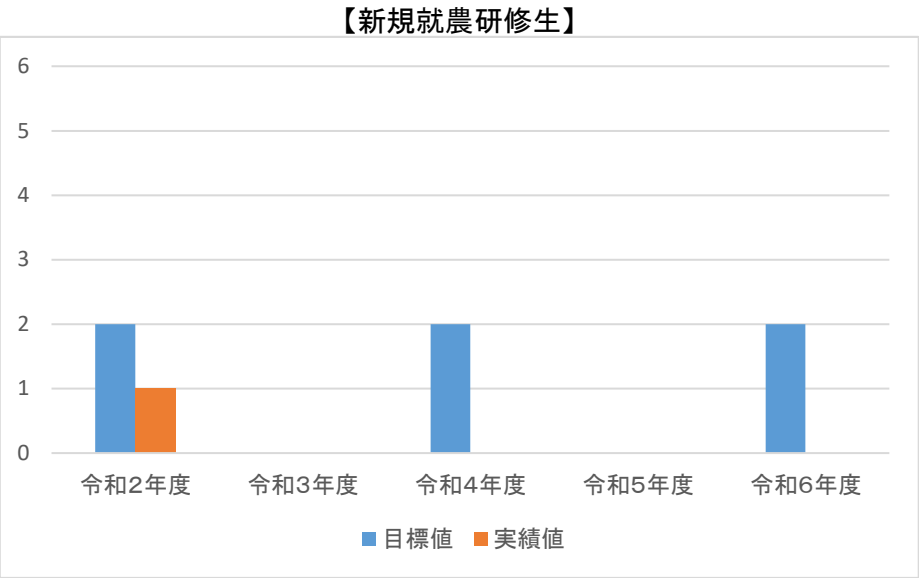
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 担い手等の確保・育成					
項目	★ 新規就農研修生					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★新規就農研修生		6	人	2	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	0	2	0	2	人
実績値	1					人
目標に対する達成率	50%					累計目標
基準値に対する増減率	-50%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援 （（公財）いの町農業公社研修事業等） 研修手当、資金の交付（農業次世代人材投資事業等）					
DO: 実績 （事業内容等を記載）	（公財）いの町農業公社と、JAコスモスまるい生姜部会において、産地提案型担い手確保対策として取り組んだ結果、1名の農業研修生を確保した。					
CHECK: 分析	農業公社のホームページや、高知県農業会議が発行しているチラシなどで就農希望者を募ったが1名にとどまった。					
ACTION: 今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努めるとともに、さらなる周知を行い研修生の確保に努める。					

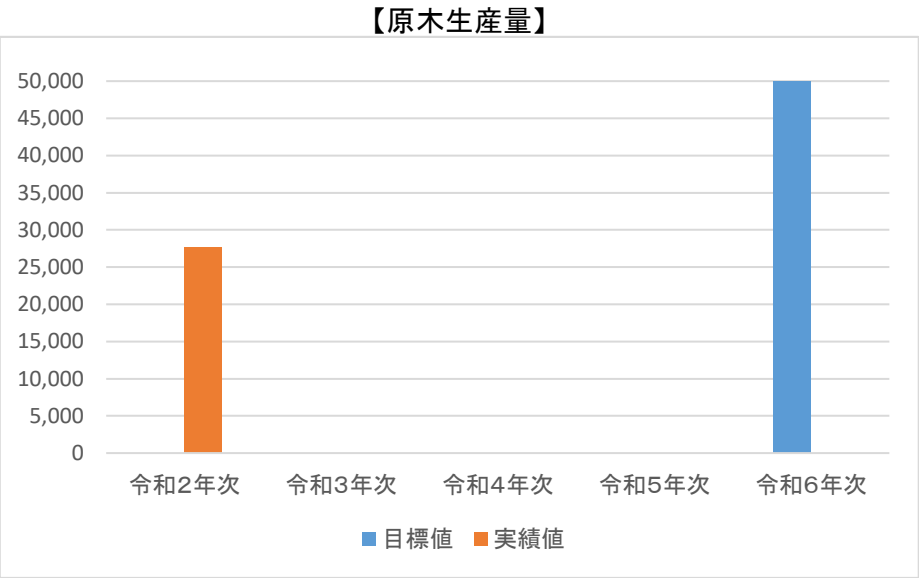
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1)地産の強化を図る					
具体的な施策	イ林業の振興					
	①林業の成長産業化					
項目	★原木生産量					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成30年次	
	令和6年度				実績等	
森林政策課	★原木生産量		50,000	m³以上	35,346	m³以上
	令和2年次	令和3年次	令和4年次	令和5年次	令和6年次	単位
目標値	暫定値 -	-	-	-	50,000	m³以上
実績値	27,630					m³以上
目標に対する達成率	55%					単年度目標
基準値に対する増減率	-22%					
評価	評価なし					
PLAN:取組内容	町産材の安定供給体制の構築(森林(もり)づくり交付金事業、「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業、「吉野川」水源の森整備事業等)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業:搬出間伐30.30ha(4,011m³)、森林作業道開設9,137m 「吉野川」水源の森整備事業:搬出間伐8.75ha(1,052m³)、森林作業道開設1,403m 森林整備緊急対策支援事業:搬出間伐2.38ha(339m³)、森林作業道開設1,467m 森林資源循環利用促進事業:皆伐34.15ha(11,205m³) 森林(もり)づくり交付金事業:森林作業道開設1,000m					
CHECK:分析	コロナ禍における木材需要の減少と価格の落ち込みが主要因となり、林業経営体においては、搬出間伐等による素材生産から、雇用維持のため原木生産を伴わない森林整備へ事業の軸を移したものと考えられる。					
ACTION:今後の対応	林業経営体による原木生産基盤の充実に向けた支援を継続的に実施する。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	評価なし

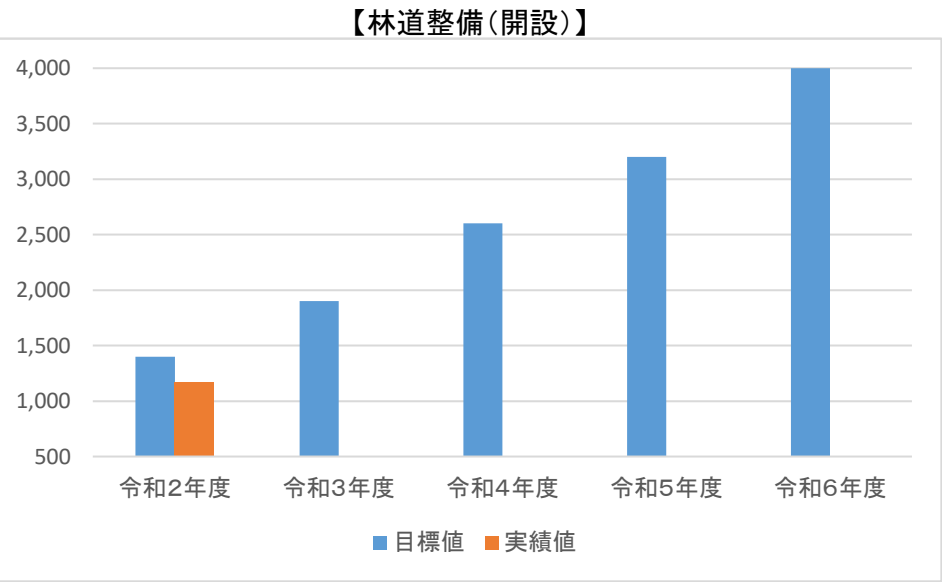
効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1	連番	26
-------	----	----

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	イ	林業の振興				
	①	林業の成長産業化				
項目	★	林道整備(開設)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
土木課・吾北建設課・本川産業建設課	★林道整備(開設)	4,000	m	758	m	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1,400	1,900	2,600	3,200	4,000	m
実績値	1,171					m
目標に対する達成率	84%					単年度目標
基準値に対する増減率	54%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	造林、保育、間伐等の適切な森林管理の推進や森林整備の低コスト化を図るとともに、木材の安定供給や更なる原木増産を実現するための路網整備					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和元年度 ・森林環境保全整備事業(林業専用道程野敷榎線開設工事) L=425m ・森林環境保全整備事業(林業専用道約束田線開設工事) L=145m ・森林環境保全整備事業(林業専用道戸中程野線開設工事) L=188m 令和2年度 ・森林環境保全整備事業(林業専用道約束田線開設工事) L=235m ・森林環境保全整備事業(林業専用道葛原山線開設工事) L=178m					
CHECK: 分析	着実な林内路網整備は実現したものの、目標値としている開設延長は達成できなかった。 未達の原因としては想定よりも開設費用を要したことが上げられる。 その要因としては開設時、法面保護工など当初想定していない工種の追加によるものである。					
ACTION: 今後の対応	適正な森林管理や木材の安定供給など森林資源を有効に活用するため、新たな林内路網整備を計画するなど、更なる林業振興の発展に向けて路網整備の推進を図るとともに、目標値を達成するため設計単価の見直しなどを実施する。					

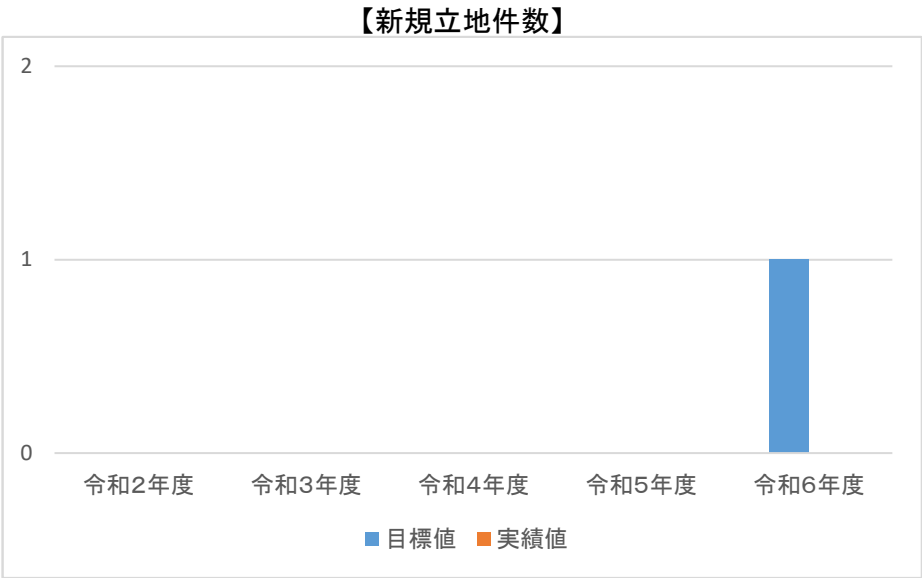
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ウ	ものづくりや地元産業の振興				
	①	企業立地・新規創業の推進・支援				
項目	★	新規立地件数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★新規立地件数		1	件	1	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	－	－	－	－	1	件
実績値	0					件
目標に対する達成率	－	－	－	－		累計目標
基準値に対する増減率	－100%					
評価	評価なし					
PLAN: 取組内容	企業立地の取り組み					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和2年度実績は無かった。					
CHECK: 分析	新しく会社設立の動きはある。					
ACTION: 今後の対応	規制緩和により企業立地の働きかけを推進する。					

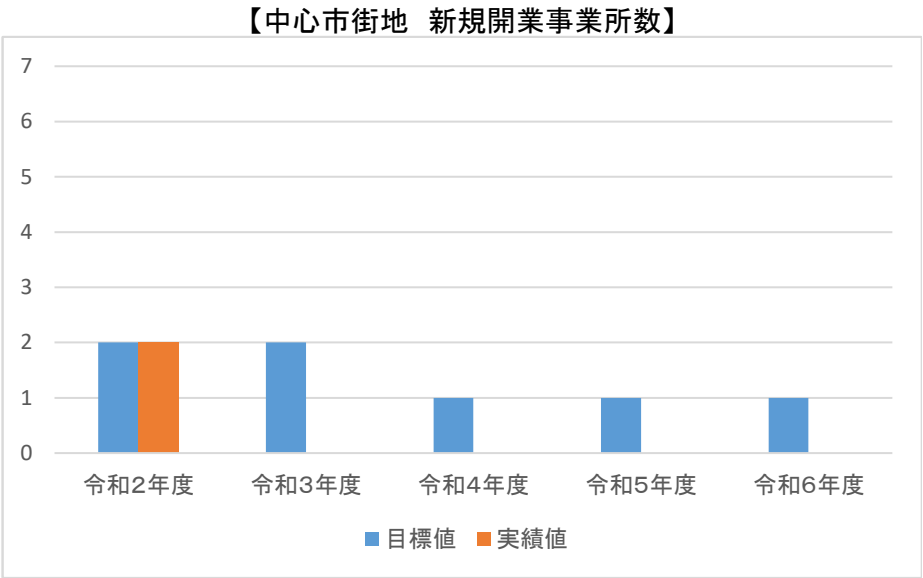
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	評価なし

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ウ ものづくりや地元産業の振興					
	① 企業立地・新規創業の推進・支援					
項目	★ 中心市街地 新規開業事業所数					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★中心市街地 新規開業事業所数		7	事業所	7	事業所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	1	1	1	事業所
実績値	2					事業所
目標に対する達成率	100%					累計目標
基準値に対する増減率	-71%					
評価	○					
PLAN: 取組内容	■ 企業立地の取り組み（いの町産業振興奨励金） 等 ■ いの町空き店舗対策家賃補助助成事業（ 地方への移住促進・創業支援事業） ■ いの町中心市街地活性化計画を策定（H30.12月）					
DO: 実績 （事業内容等を記載）	いの町産業振興奨励金（四電エンジニアリング(株)）を実施した。 いの町空き店舗対策家賃補助助成事業（5件ヴェロニカペルシカ、犬の美容室かげろう、山里工房、コクバンカフェ、GOODFIVE）を実施した。いの町ホームページに支援内容を引き続き掲載した。れんけいこうちでHPを作成、広域での取り組みを始めた。 新規開業（コクバンカフェ、GOODFIVE）					
CHECK: 分析	基準値を下回っているが、シェアオフィス（コクバンオフィス）ができたことにより、町内でオフィスを構えやすく起業しやすい環境が整いつつある。					
ACTION: 今後の対応	れんけいこうちの取組みと連携を図り、支援策の情報発信力を向上させるとともに、移住者等の創業やリモートオフィスとしても目をとめてもらえるよう、商工会と連携して空き店舗の情報収集にも努める。					

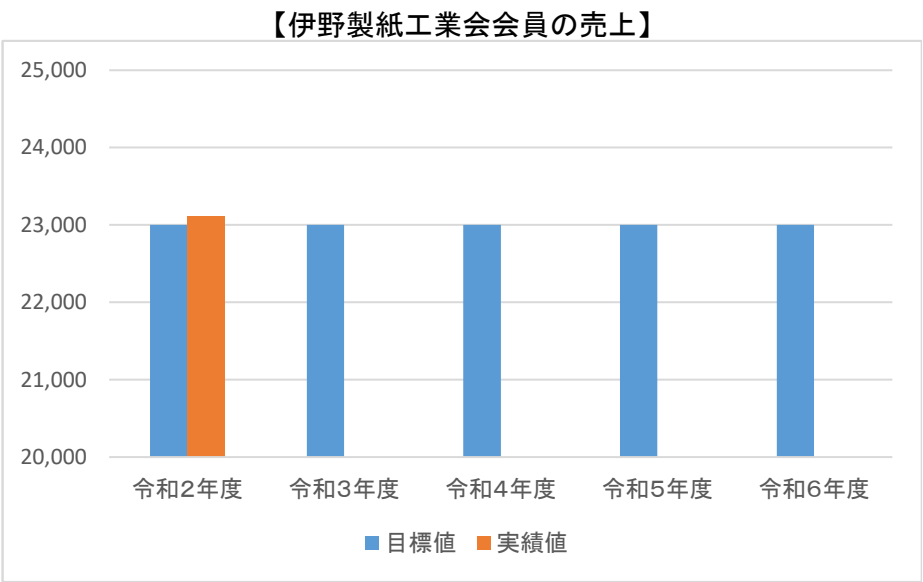
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価（意見等）	
意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ウ ものづくりや地元産業の振興					
	② 紙産業の振興					
項目	★ 伊野製紙工業会会員の売上					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★伊野製紙工業会会員の売上		23,000	百万円	23,319	百万円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	百万円
実績値	23,108					百万円
目標に対する達成率	100%					単年度目標
基準値に対する増減率	-1%					
評価	◎					
PLAN: 取組内容	紙産業の振興 伊野製紙工業会会員の売上					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和2年度 ・19社 ・うち、町内17社について 年間売上総額 231億8百万円 正規従業員数 829人					
CHECK: 分析	厳しい経済情勢の中、コストの引き下げ、付加価値の増加等によって収益の確保に努力している。					
ACTION: 今後の対応	若手後継者の育成を支援し、土佐和紙の開拓、愛好家の増加を図る。さらなる環境改善に取り組み、売上増を目指す。					

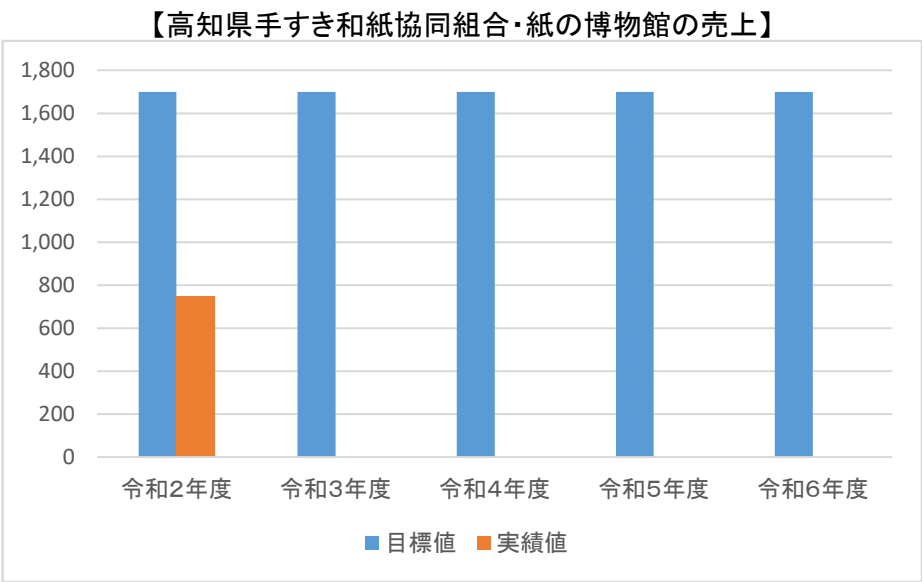
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ウ ものづくりや地元産業の振興					
	② 紙産業の振興					
項目	★ 高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上		1,700	万円	906	万円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	万円
実績値	747					万円
目標に対する達成率	44%					単年度目標
基準値に対する増減率	-18%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	紙産業の振興 紙の博物館(販売コーナー)の売上					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	R2年度 紙の博物館販売コーナー売上7,471,756円(前年比△1,583,762円)					
CHECK: 分析	・新型コロナウイルス感染症の影響により入場者が減少した。(入場者前年比61.1%) ・4/13～5/20は臨時休館した。 ・開催する展示会の内容により入場者に影響がある。					
ACTION: 今後の対応	令和2年4月より、紙の博物館販売コーナー運営が手すき和紙協同組合への委託から町の直営となった。ディスプレイやポップ表示の変更など、魅力的な売り場づくりに努める。 販売コーナーのみの利用は無料で入場できることをPRし、販売コーナー利用増に努め、売り上げ増を目指す。					

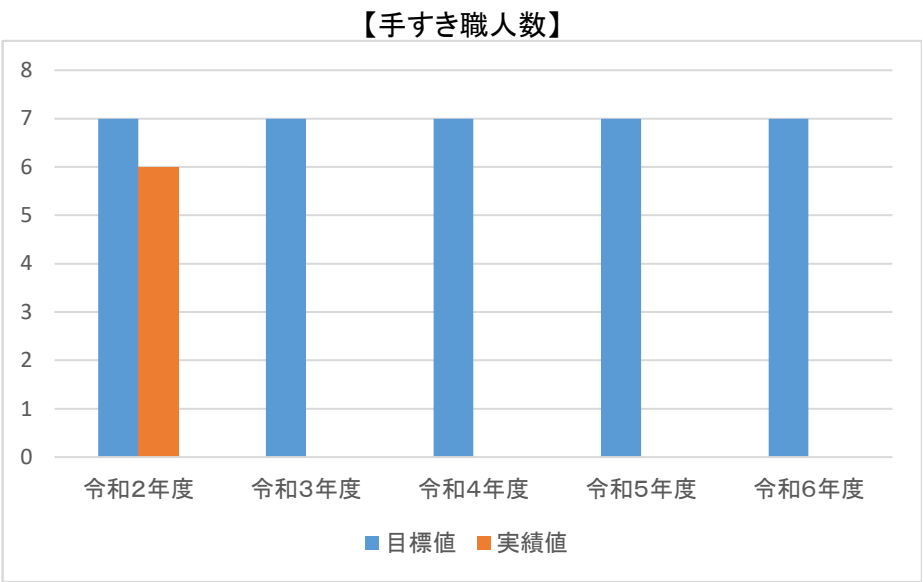
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ウ ものづくりや地元産業の振興					
	② 紙産業の振興					
項目	★ 手すき職人数					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★手すき職人数		7	人	6	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	7	7	7	7	7	人
実績値	6					人
目標に対する達成率	86%					単年度目標
基準値に対する増減率	0%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	紙産業の振興 手すき職人数					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	手すき職人 6名					
CHECK: 分析	昨年度末で長期研修を終了した研修生が1名おり、今後手すき職人となるべく、実績を積みながら土佐和紙振興に携わってもらう。					
ACTION: 今後の対応	高齢化等により町内の手すき和紙協同組合員は減少している。 今後は、職人を目指す人材の掘り起こしや職人育成のプログラムの検証など、手すき和紙協同組合や高知県工業振興課と連携して行っていく。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

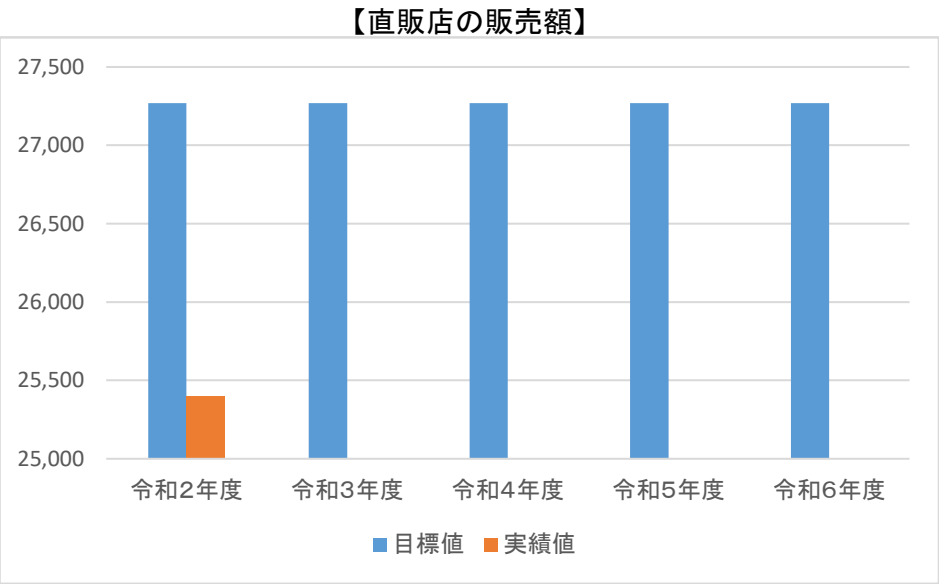
効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 32

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	エ	地産地消の徹底				
項目	★	直販店の販売額				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課・本川産業建設課	★直販店の販売額	27,270	万円	25,110	万円	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	27,270	27,270	27,270	27,270	27,270	万円
実績値	25,400					万円
目標に対する達成率	93%					単年度目標
基準値に対する増減率	1%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	新規部員の獲得や、直販部員によるイベントの実施、他主催のイベントへ参加し集客および知名度向上に努めた。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	紙博直販所 1,330 いの町本川直販所 460 JAコスモス伊野直販所 2,310 伊野町農産物直販所 5,150 レストパークいの 7,130 工芸村特産センター 1,490 9カ所合計 25,400 水辺の駅 あいの里 仁淀川 直販所 860 ふれあいの里柳野 670 道の駅633美の里物産館 6,000					
CHECK: 分析	イベントの開催や他主催のイベントに参加することで集客や知名度アップで売上増を図ったが、目標を達成できなかった。新型コロナウイルス感染症によるイベントの縮小や消費者の外出自粛が要因と考えられる。					
ACTION: 今後の対応	今後も新規部員の増加を図り、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながらイベントの開催等を図り、集客率及び販売額の増加に努める。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了

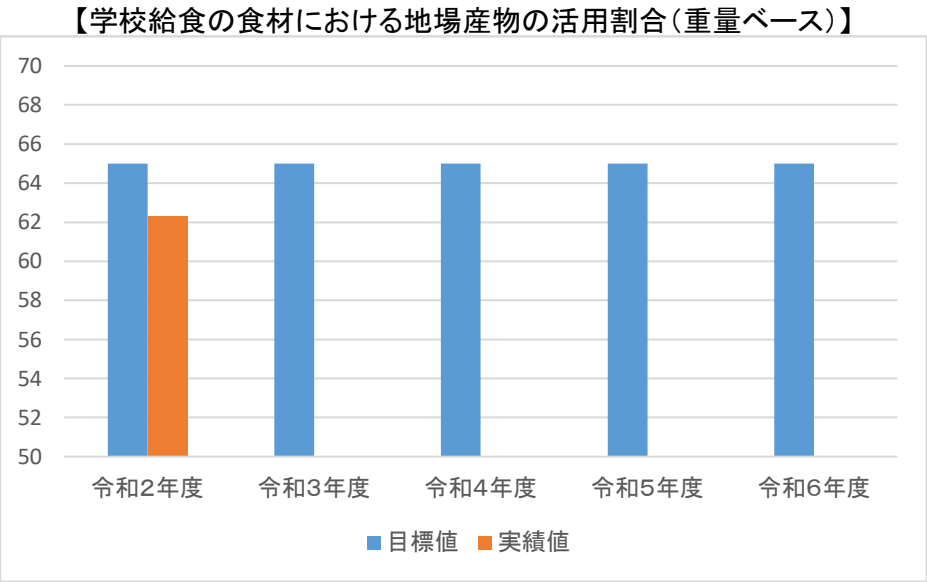


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	エ	地産地消の徹底				
項目	★	学校給食の食材における地場産物の活用割合(重量ベース)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★学校給食の食材における地場産物の活用割合(重量ベース)	65	%		72.8	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	65	65	65	65	65	%
実績値	62					%
目標に対する達成率	96%					単年度目標
基準値に対する増減率	-14%					
評価	△					
PLAN:取組内容	学校、認定こども園、保育園の給食食材における県内産品の活用割合(重量ベース)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	上記実績のとおり。保育園・認定こども園 50.7%、学校 63.3%。					
CHECK:分析	※地域食材の使用状況調査ではあるが、いの町産ではなく、高知県産の調査となる。 学校は、献立内容によりいの町産・高知県産の食材の利用率が変化することもあり、令和元年度に比べて減少した。いの町の食材納入業者とのやり取りは変わらず継続している。 保育園・認定こども園では納品可能な食材納入業者が限られるため大手のスーパーなどからの購入が多く、県内産の量が減少した。					
ACTION:今後の対応	いの町内の農家など新たな食材納入業者との取引を増やす。 現在取引している業者へも県内産を優先して選んでもらうよう働きかける。 年間を通じた地元食材の利用予定について食材納入業者と話し合い、安定した購入を行う。					

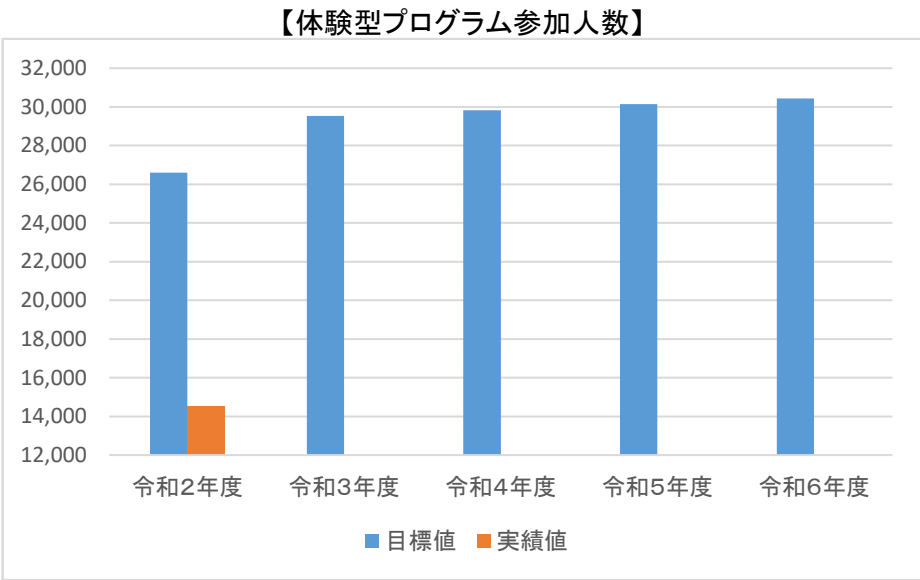
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(2) 外商の強化を図る					
具体的な施策	ア観光振興					
	① 魅力ある新メニューの開発強化					
項目	★体験型プログラム参加人数					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★体験型プログラム参加人数		30,440	人	28,428	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	26,599	29,546	29,841	30,139	30,440	人
実績値	14,489					人
目標に対する達成率	54%					単年度目標
基準値に対する増減率	-49%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	■「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 仁淀ブルーを活用したDMO観光地域づくりの連携事業 ■石鎚山系の広域観光推進 (株)ソラヤマいしづちとの連携事業 ■れんけいこうち広域観光推進事業					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	○屋外観光施設等緊急整備事業を活用した土佐和紙工芸村内の体験メニュー施設の改修 ○水辺の駅にこにこ館のメニュー開発と新規雇用の創出 ○山荘しらさの整備と新規雇用の創出 ○映像を活用した仁淀川流域プロモーション事業					
CHECK: 分析	コロナウイルス感染症拡大により休業要請や緊急事態宣言が発令された影響を受け、国内外の観光客が大幅に減少。休業要請が発令された5月以降、体験メニュー参加者なしの状態が続く。全国的に夏場は感染拡大が落ち着いていたが、秋以降感染が拡大し、主要なイベントも中止が相次いだことから観光客入込客数が大幅に減少した。					
ACTION: 今後の対応	新型コロナウイルス感染症の影響により予約キャンセルが発生し、今後しばらくその状況が続く見込み。観光需要自体は低下していないと見られるため、仁淀ブルー観光協議会やソラヤマいしづち、流域市町村と連携して観光商品の造成や体験メニューの磨き上げを行い集客を図るとともに滞在型観光プラン整備計画を推進していく。					

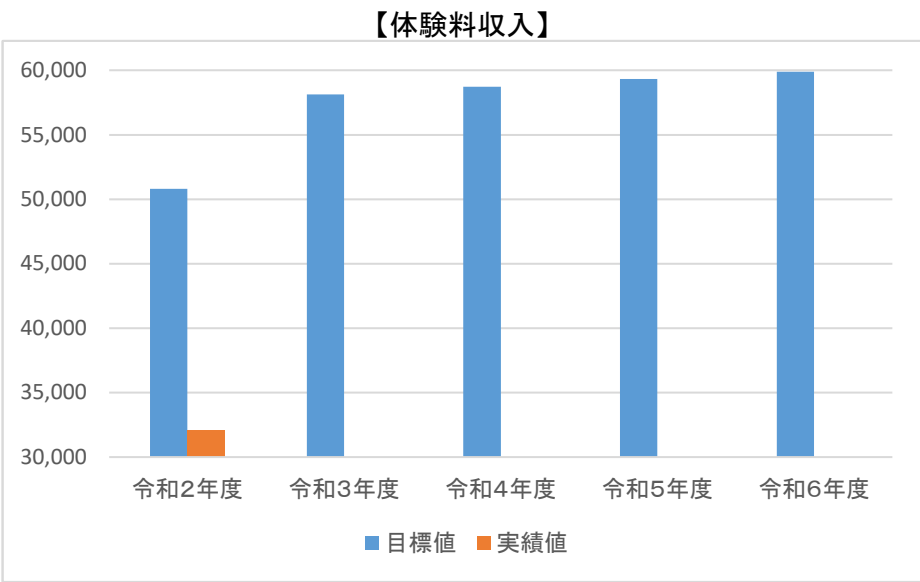
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(2) 外商の強化を図る					
具体的な施策	ア 観光振興					
	① 魅力ある新メニューの開発強化					
項目	★ 体験料収入					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★体験料収入		59,903	千円	56,687	千円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	50,799	58,141	58,723	59,310	59,903	千円
実績値	32,065					千円
目標に対する達成率	63%					単年度目標
基準値に対する増減率	-43%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	■「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 仁淀ブルーを活用したDMO観光地域づくりの連携事業 ■石鎚山系の広域観光推進 (株)ソラヤマいしづちとの連携事業 ■れんけいこうち広域観光推進事業					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	○屋外観光施設等緊急整備事業を活用した土佐和紙工芸村内の体験メニュー施設の改修 ○水辺の駅にこにこ館のメニュー開発と新規雇用の創出 ○山荘しらさの整備と新規雇用の創出 ○映像を活用した仁淀川流域プロモーション事業					
CHECK: 分析	コロナウイルス感染症拡大により休業要請や緊急事態宣言が発令された影響を受け、国内外の観光客が大幅に減少。休業要請が発令された5月以降、体験メニュー参加者なしの状態が続く。観光客入込客数が大幅に減少したことに伴い体験料収入も減少。					
ACTION: 今後の対応	新型コロナウイルス感染症の影響により予約キャンセルが発生し、今後しばらくその状況が続く見込み。観光需要自体は低下していないと見られるため、「仁淀ブルー体験博」の取り組みを通して体験メニューの磨き上げや地域資源の活用を積極的に図るなど、体験メニューの付加価値を高め客単価をアップさせることにより体験料収入の減少を抑制する。					

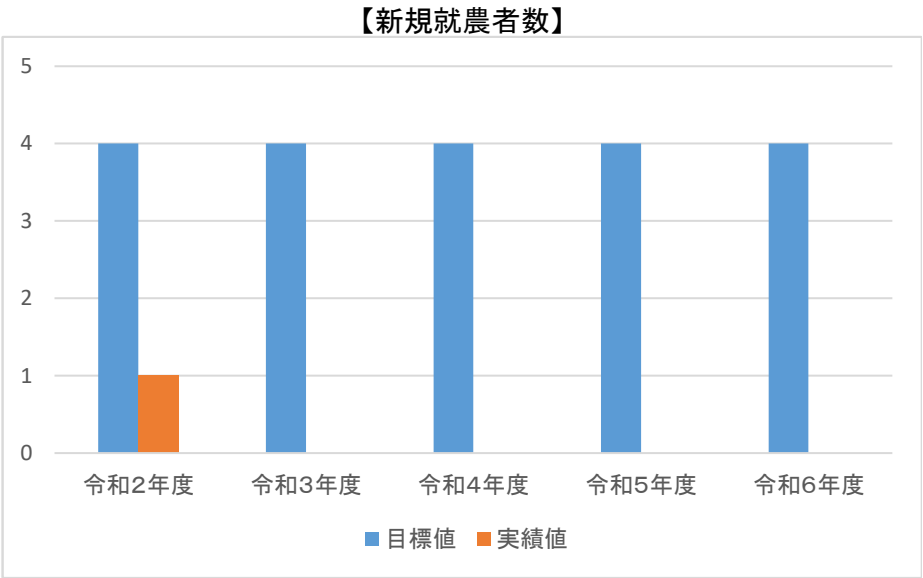
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(3)	雇用の創出を図る				
具体的な施策	ア	人財の確保				
	①	第一次産業等における担い手の確保				
項目	★	新規就農者数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★新規就農者数		20	人	2	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	4	4	4	4	4	人
実績値	1					人
目標に対する達成率	25%					累計目標
基準値に対する増減率	-50%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	■ 新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援(新規就農者支援事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	伊野地区1名が就農した					
CHECK: 分析	農地の確保や、資金の確保がむずかしく、就農につなげることができなかった。					
ACTION: 今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努めるとともに、支援をおこなっていく					

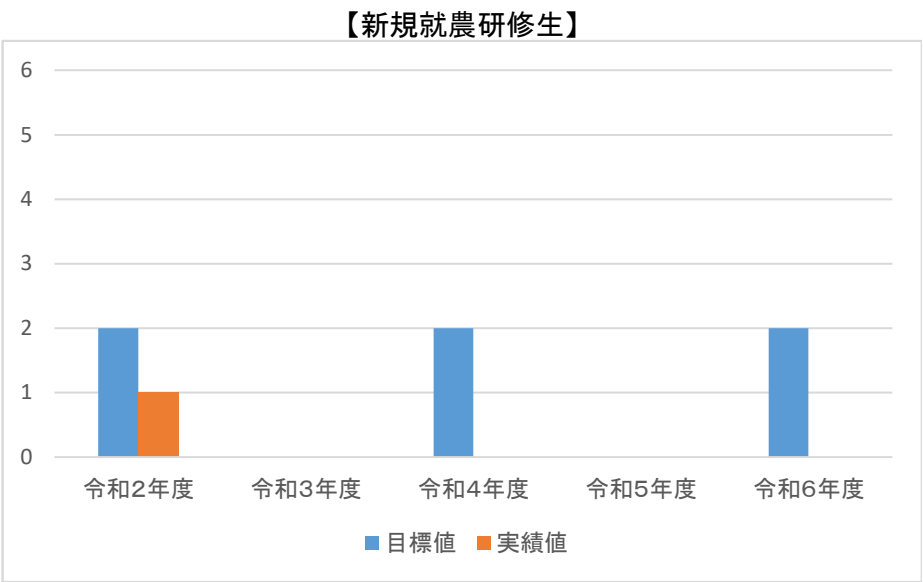
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(3)	雇用の創出を図る				
具体的な施策	ア	人財の確保				
	①	第一次産業等における担い手の確保				
項目	★	新規就農研修生				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★新規就農研修生		6	人	2	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	0	2	0	2	人
実績値	1					人
目標に対する達成率	50%					累計目標
基準値に対する増減率	-50%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援 （（公財）いの町農業公社研修事業等） 研修手当、資金の交付（農業次世代人材投資事業等）					
DO: 実績 （事業内容等を記載）	（公財）いの町農業公社と、JAコスモスまるい生姜部会において、産地提案型担い手確保対策として取り組んだ結果、1名の農業研修生を確保した。					
CHECK: 分析	農業公社のホームページや、高知県農業会議が発行しているチラシなどで就農希望者を募ったが1名にとどまった。					
ACTION: 今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努めるとともに、さらなる周知を行い研修生の確保に努める。					

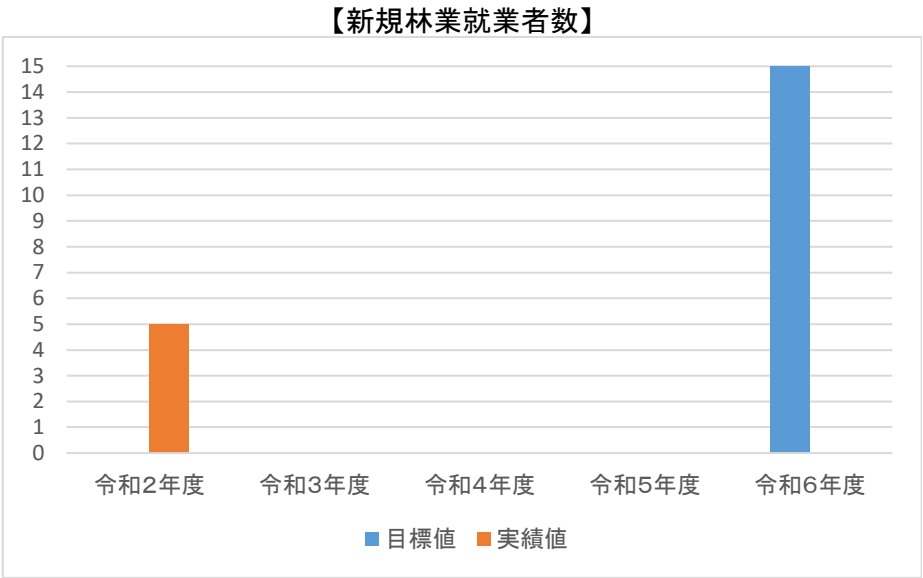
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(3) 雇用の創出を図る					
具体的な施策	ア 人財の確保					
	① 第一次産業等における担い手の確保					
項目	★ 新規林業就業者数					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
森林政策課	★新規林業就業者数		15	人	6	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	15	人
実績値	5					人
目標に対する達成率	33%					累計目標
基準値に対する増減率	-17%					
評価	評価なし					
PLAN: 取組内容	新規林業就業者への研修支援(林業労働力確保育成支援事業) 等					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	4事業体で5名採用されている。					
CHECK: 分析	令和元年度実績 採用人数: 6名と比較し、1名減となっているが、林業就業者向けの就職ガイダンス参加日当に補助を行うことで、町内林業事業体が積極的にガイダンスに参加する姿勢が見られ、インターンシップの参加者数は増加している。					
ACTION: 今後の対応	林業担い手の確保に向けた支援を図るとともに、引き続き林業従事者の育成、労働災害防止等への支援を展開する。					

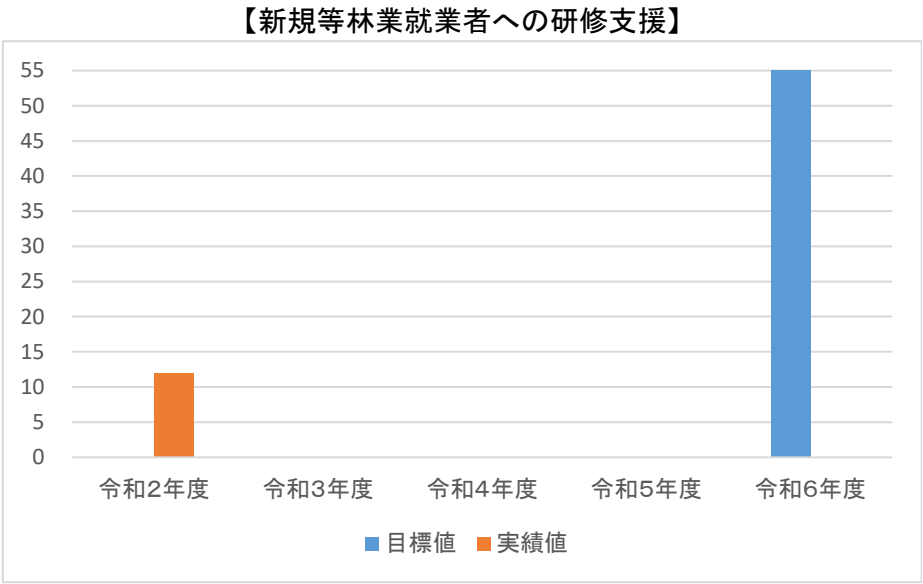
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	評価なし

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(3) 雇用の創出を図る					
具体的な施策	ア 人財の確保					
	① 第一次産業等における担い手の確保					
項目	★ 新規等林業就業者への研修支援					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
森林政策課	★新規等林業就業者への研修支援			55	人	11 人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	55	人
実績値	12					人
目標に対する達成率	22%					累計目標
基準値に対する増減率	9%					
評価	評価なし					
PLAN: 取組内容	新規林業就業者への研修支援(林業労働力確保育成支援事業) 等					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	●1年目: 5名 ●2年目: 6名 ●3年目: 1名					
CHECK: 分析	令和元年度実績と比較し1年目の採用人数が1名減、2年目5名増、3年目3名減。 各林業事業体は年間を通じて職員募集を行っており、令和2年度の事業対象人数は令和元年度と比較し1名増加となった。					
ACTION: 今後の対応	林業担い手の確保に向けた支援を図るとともに、引き続き林業従事者の育成、労働災害防止等への支援を展開する。					

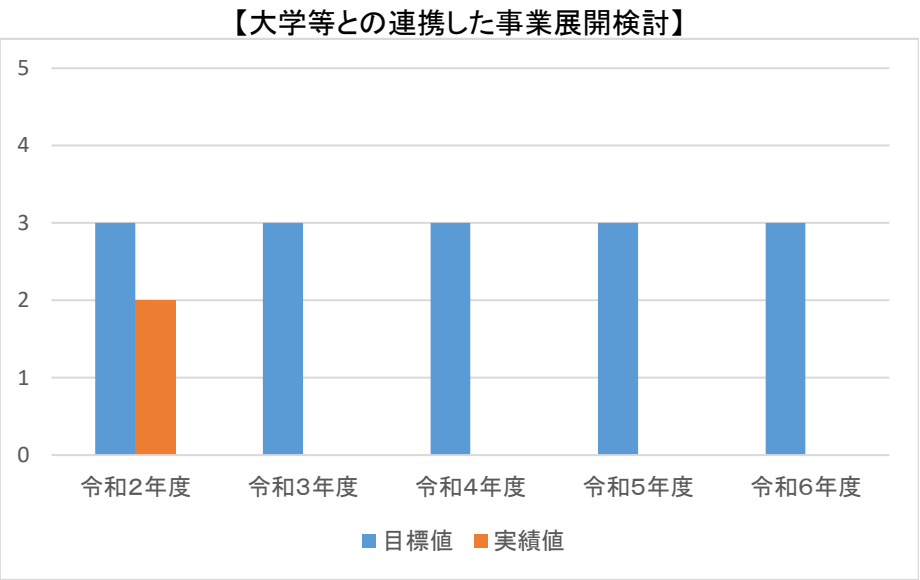
評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	評価なし

基本目標	1 産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(3) 雇用の創出を図る					
具体的な施策	イ 人財の育成					
	① 各領域の専門家集団の養成					
項目	★ 大学等との連携した事業展開検討					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★大学等との連携した事業展開検討		3	件	2	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	3	3	3	件
実績値	2					件
目標に対する達成率	67%					単年度目標
基準値に対する増減率	0%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	高知大学地域連携推進センターと連携した取組み					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	今後の高知大学地域連携推進センターとの連携した取組みについて、令和2年9月30日に大崎講師と打合せを行った。 また既存の取組みについては、柳野地区で地域と大学生との連携した取組みが実施された。					
CHECK: 分析	活発的に活動されている地区は、高知大学と連携した取組みを行い、広がりを見せているものの、その他の活動については、大学とのマッチングの機会や連携事業の話し合いはなかった。					
ACTION: 今後の対応	活発的に活動されている地区に対しては引き続き働きかけを行うほか、その他の地区での実施に向け、今後、地域と大学とのマッチングに向けて、高知大学次世代地域創造センターと協議を行っていく。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

総合戦略効果検証シート 基本目標2

基本目標2 新しい人の流れをつくる

基本的方向	連番	担当課	具体的な施策(詳細)	R2目標値	R2実績値	総合評価	R6(最終年度)時点	単位	累計
(1)いの町を知ってもらう	1	総合政策課	いの町ホームページへのアクセス数	20,000回以上	75,509	◎	20,000 → 77000	回以上	
	2	教育委員会	Q-Uによる学級満足度群の児童生徒の割合(R2で終了)	65%以上	64.7%	○			
	新	教育委員会	(R3から)i-check(アイチェック)による学級の絆のiスコアの割合	-	-		80	%以上	
	3	教育委員会	「自分には良いところがある」の肯定的回答の割合(小中学校とも)	85%以上	72.4%	△	85	%以上	
	4	教育委員会	教師塾菊池寺子屋及び大人版菊池学級への参加延べ人員	150人	157人	◎	150	人以上	○
	5	教育委員会	ぷっくりハート体操の取組み人数	-	701人	評価なし	2,000	人以上	○
	6	教育委員会	ぷっくりハートのキャラクターを活用したノベルティ商品の開発	-	0	評価なし	8	商品	○
	7	教育委員会	アンガーマネジメントファシリテーター養成研修修了者	-	0	評価なし	5	人以上	○
(2)いの町への関わりをつくる	8	総合政策課	ふるさと納税寄付件数	8,200件以上	12,280件	◎	8,200	件(年平均)以上	
	9	総合政策課	移住相談者数	300件以上	193件	△	300	件(年平均)以上	
	10	総合政策課	移住相談後、いの町を案内した人数	50人以上	56人	◎	50	人(年平均)以上	
(3)いの町に住んでいただく	11	総合政策課	県外からの移住者数	10人以上	11人	◎	10	組(年平均)以上	
	12	本川教育事務所	町外から山村留学生新規留学生数	3人以上	7人	◎	3	人(年間)以上	
	13	産業経済課	中心市街地 新規開業事業所数	2事業所	2事業所	○	7	事業所	○

効果検証・評価結果

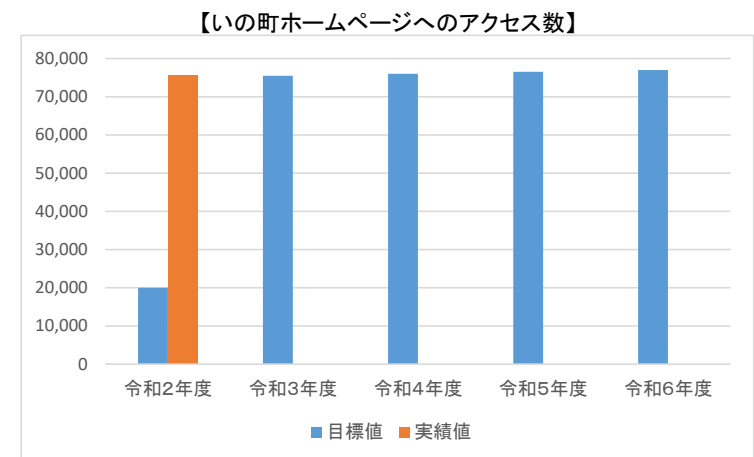
総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番 1

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらう！」ための取り組み				
	①	PR・情報発信				
項目	★	いの町ホームページへのアクセス数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★いの町ホームページへのアクセス数	77,000	回以上	43,502	回	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	20,000	75,500	76,000	76,500	77,000	回以上
実績値	75,509					回以上
目標に対する達成率	378%					単年度目標
基準値に対する増減率	74%					
評価	◎					
PLAN: 取組内容	「いの町」を移住先に選んでいただくため、いの町移住応援サイト「ハッピーいの町ターン」を運用し、きめ細かに当町の移住支援事業を紹介する。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	アクセス数実績が、目標値を上回った。					
CHECK: 分析	空き家バンクの物件に加え、中間管理住宅の物件も紹介したことから、年々アクセス数が増加している。 また、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響から、田舎への移住に対する関心が高まっていることから、今回の実績に繋がったと考える。					
ACTION: 今後の対応	コロナ禍による地方移住への関心の高まりを好機と捉え、今後も空き家バンク登録物件数の増加、中間管理住宅の整備を行うとともに、物件情報のみでなく当町の暮らしに関する情報を発信することで、移住の第1段階である「いの町を知ってもらう」取組みを今後も実施していく。					

評価項目	◎ 目標値以上	総合評価項目	◎ 目標値以上
○ 目標値と同等	○ 目標値と同等	○ 目標値と同等	○ 目標値と同等
△ 目標値未満	△ 目標値未満	△ 目標値未満	△ 目標値未満
× 進捗なしor事業終了	× 進捗なしor事業終了	× 進捗なしor事業終了	× 進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番 2

基本目標	2	新しい人の流れをつくる			
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらおう			
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらおう！」ための取り組み			
	(2)	いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」			
項目	★	「Q-Uによる学級満足群の児童生徒の割合(R2まで)」			
担当課	重要業績評価指標(KPI)			基準値: 令和元年度	
	令和6年度			実績等	
教育委員会	★「Q-Uによる学級満足群の児童生徒の割合(R2まで)」	65	%以上	60.5	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	65	-	-	-	-
実績値	64.7				
目標に対する達成率	100%				
基準値に対する増減率	7%				
評価	○				
PLAN: 取組内容	・目指す教育の姿を「豊かな対話を通して、学び続ける子ども」に設定し、教育特使菊池省三氏とともに、「自分らしさが発揮できる学級づくり」と「少人数による話し合いのある授業の成立」を小中学校で実践していく。 ・町研究指定校であり、中心校でもあった伊野小学校の実践を各校に広めたり、教育特使が各校の授業や取組について、指導助言をし、目指す教育の姿に向かって取組を進めていく教員を育成する。 ・教育特使が各校の授業を参観し、教員の指導方法や子どもへの言葉かけや関わり等について指導助言を行った。(26日/35日)				
DO: 実績 (事業内容等を記載)	・年度当初は、小学校は59.0%、中学校は62.5%、小中学校合わせて60.4%であった。年度末は、小学校63.7%、中学校は66.1%、小中学校合わせて64.7%であった。				
CHECK: 分析	今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業の影響があり、小学校の年度当初の値が低かった。				
ACTION: 今後の対応	・令和3年度より項目を「Q-Uによる学級満足群の児童生徒の割合」から「i-check(アイチェック)による学級の絆のiスコアの割合」に変更する。 ・目標値を「学級の絆(学級に対する帰属意識や愛情とその表現についての質問)のiスコア3.2以上の学級が80%以上」に変更する。				

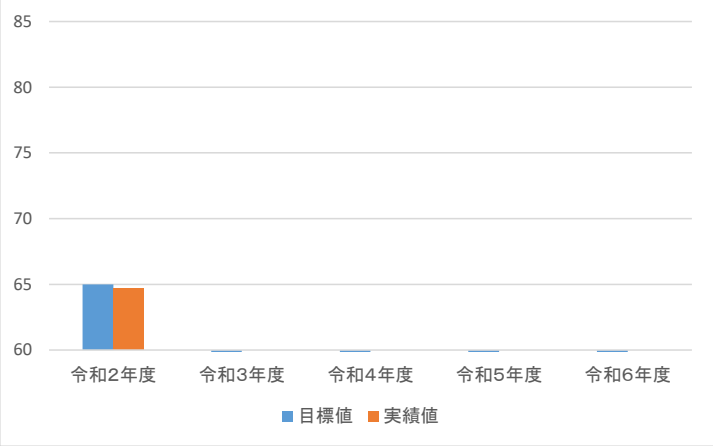
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【「Q-Uによる学級満足群の児童生徒の割合(R2まで)」】

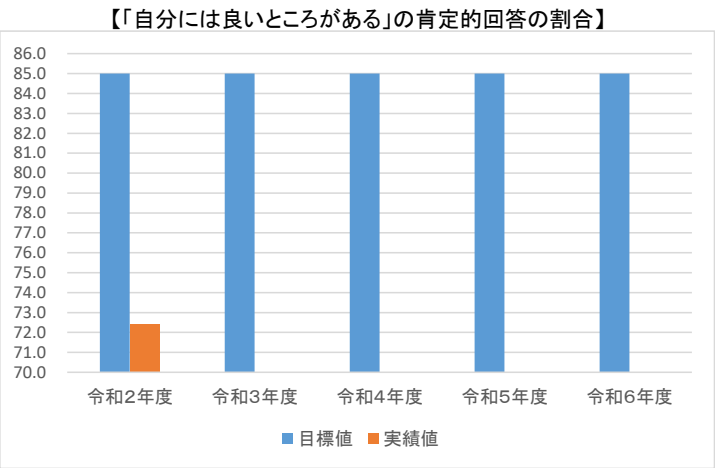


推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらう！」ための取り組み				
	②	いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」				
項目	★	「自分には良いところがある」の肯定的回答の割合				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★「自分には良いところがある」の肯定的回答の割合	小中学校とも85	%以上	76.3	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	%以上
実績値	72.4					%以上
目標に対する達成率	85%					単年度目標
基準値に対する増減率	-5%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	・目指す教育の姿を「豊かな対話を通して、学び続ける子ども」に設定し、教育特使菊池省三氏とともに、「自分らしさが発揮できる学級づくり」と「少人数による話し合いのある授業の成立」を小中学校で実践していく。 ・町研究指定校であり、中心校でもあった伊野小学校の実践を各校に広めたり、教育特使が各校の授業や取組について、指導助言をし、目指す教育の姿に向かって取組を進めていく教員を育成する。 ・教育特使が各校の授業を参観し、教員の指導方法や子どもへの言葉かけや関わり等について指導助言を行った。(26日/35日)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	・学校評価アンケートにおいて、小学生の肯定的回答は73.8%、中学生の肯定的回答は69.2%で、小中学生合わせて72.4%であった。					
CHECK: 分析	小学生、中学生ともに目標値には達していない。また、中学生は小学生より肯定的回答率が低い。小中学校での取組の連携が十分図れていない。					
ACTION: 今後の対応	・教育研究所と連携し、各校の取組を共有する場を担当者部会だけではなく、各校の公開授業への参加を位置づけるとともに、校長会でも情報共有の場を設定する。					

評価項目		総合評価項目	
◎	目標値以上	◎	目標値以上
○	目標値と同等	○	目標値と同等
△	目標値未満	△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了	×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

4

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらう！」ための取り組み				
	(2)	いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」				
項目	★	教師塾菊池寺子屋及び大人版菊池学級への参加の延べ人員				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★教師塾菊池寺子屋及び大人版菊池学級への参加の延べ人員	150	人以上	318	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	150	150	150	150	150	人以上
実績値	157					人
目標に対する達成率	105%					
基準値に対する増減率	-51%					
評価	◎					累計目標
PLAN: 取組内容	・教育特使が来町した日の勤務時間内外で、教育特使の授業観、指導論、指導技術を学ぶ機会を場を設け、町の目指す教育の姿を達成していくために必要な教員を育成していく。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	・来町日35日中、勤務時間内外含めて23回寺子屋を開催し、のべ157名(うち勤務時間内10回93人)が参加した。 ・大人版菊池学級は、新型コロナウイルス感染防止のため中止した。					
CHECK: 分析	・熱心に参加する先生だけではなく、勤務時間内に訪問した先の学校で開催したことで、初年度で目標値を達成できた。					
ACTION: 今後の対応	・教師塾菊池寺子屋の開催を検討する。					

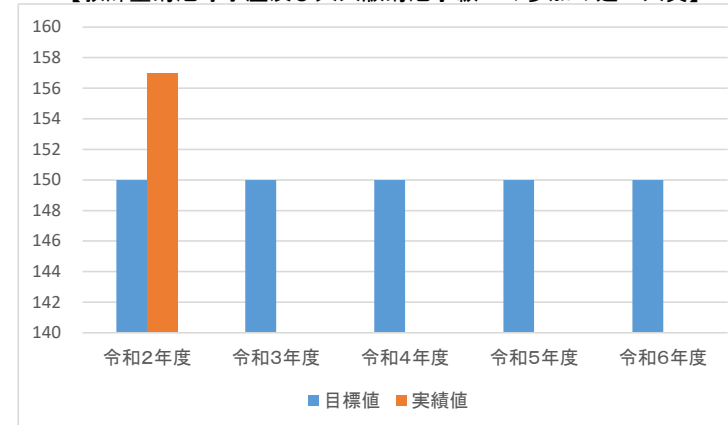
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【教師塾菊池寺子屋及び大人版菊池学級への参加の延べ人員】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番 5

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらう！」ための取り組み				
	(2)	いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」				
項目	★	ぶっくりハート体操の取り組み人数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★ぶっくりハート体操の取り組み人数	2,000	人以上	-	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	2000	人以上
実績値	701					人
目標に対する達成率	-	-	-	-		累計目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-		
評価	評価なし					
PLAN: 取組内容	・町内の保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校の運動会でぶっくりハート体操を、子どもと一緒にやる。 ・ほけん福祉課主催「るんるん若がえる体操」に同行し、高齢者と一緒にぶっくりハート体操を行う。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	・全ての保育園、幼稚園、認定こども園(10園)、小学校(3校)、中学校(4校)の運動会で子ども達と一緒にぶっくりハート体操を行った。 ・新型コロナウイルス感染防止のため、「るんるん若がえる体操」が中止となり、参加できなかった。					
CHECK: 分析	・全ての園の運動会に参加できたことで、多くの園児や保護者にぶっくりハート体操を周知することができた。					
ACTION: 今後の対応	・継続して園や学校の運動会に参加させてもらい、ほけん福祉課の活動へ可能な限り同行し目的達成を目指す。					

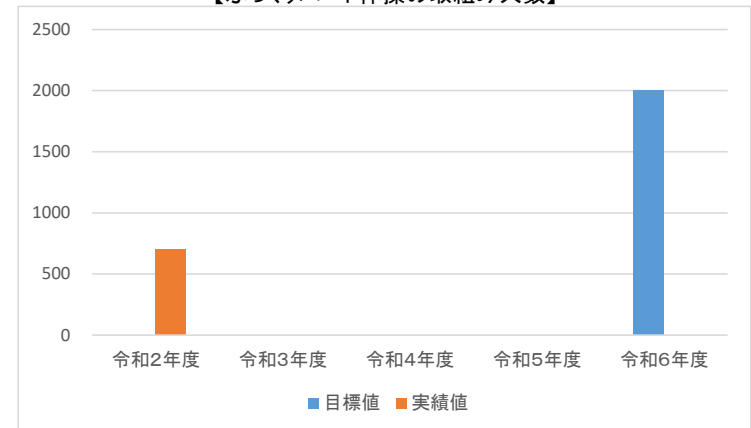
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【ぶっくりハート体操の取り組み人数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	評価なし

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

6

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらう！」ための取り組み				
	②	いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」				
項目	★	ぶっくりハートのキャラクターを活用したノベルティ商品の開発				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★ぶっくりハートのキャラクターを活用したノベルティ商品の開発	8	商品	-	商品	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	8	商品
実績値	0					商品
目標に対する達成率	-	-	-	-		累計目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-		
評価	評価なし					
PLAN:取組内容	・他課等と連携し、ぶっくりハーちゃんをモチーフにしたノベルティ商品を開発し、町内外にぶっくりハートのPR活動につなげる。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	・商品開発はできなかった。					
CHECK:分析	・ぶっくりハーちゃんのモチーフを活用するための商標登録に関する手続きについて弁理士に相談し、助言をもらい準備に時間がかかってしまった。					
ACTION:今後の対応	・早期での商標登録を目指し、手続きを進める。					

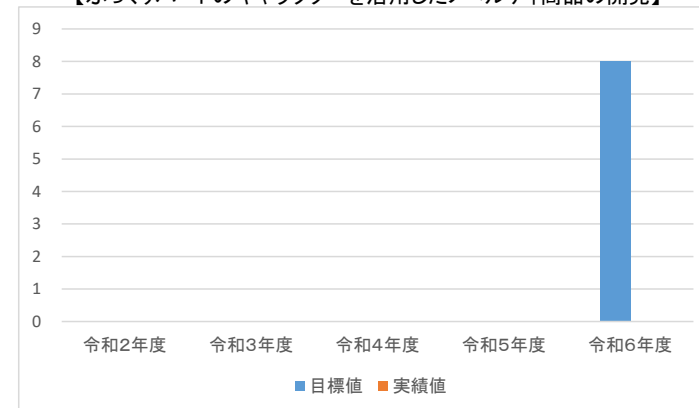
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【ぶっくりハートのキャラクターを活用したノベルティ商品の開発】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	評価なし

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番	7
----	---

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらう！」ための取り組み				
	(2)	いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」				
項目	★	アンガーマネジメントファシリテーター養成研修修了者				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★アンガーマネジメントファシリテーター養成研修修了者	5	人以上	-		人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	5	人以上
実績値	0					人
目標に対する達成率	-	-	-	-		累計目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-		
評価	評価なし					
PLAN: 取組内容	・自分自身の心と向き合いマネジメントする力の育成を目指し、町内の保育士や保育教諭や保健師、ソーシャルワーカー等がアンガーマネジメントファシリテーターの資格を習得し、あらゆる世代の町民への研修を実施することで、いじめや不登校、児童虐待、高齢者等への虐待の未然防止・件数減少につなげる。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	資格習得者はなし					
CHECK: 分析	新型コロナウイルス感染防止のため、県外での研修が中止になり参加できなかった。					
ACTION: 今後の対応	オンライン研修会への参加を検討する。					

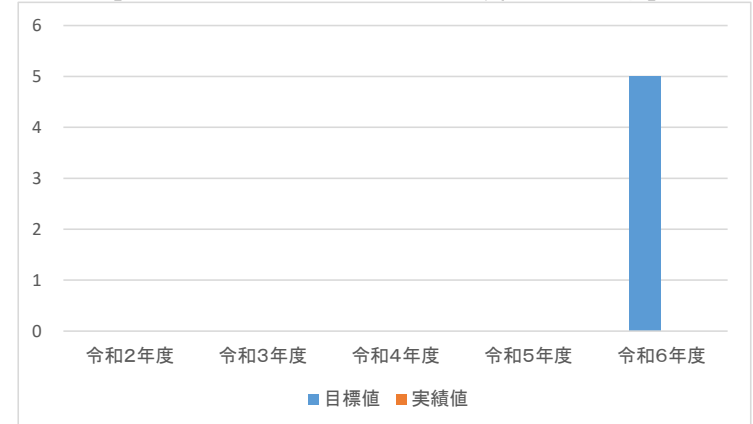
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【アンガーマネジメントファシリテーター養成研修修了者】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	評価なし

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番	8
----	---

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(2)	いの町への関わりをつくる				
具体的な施策	(ア)	多様な形で関わる人々「関係人口」づくり				
	①	「関係人口」づくり				
項目	★	ふるさと納税寄付件数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★ふるさと納税寄付件数	8,200	件(年平均)以上		-	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	件(年平均)以上
実績値	12,280					件
目標に対する達成率	150%					単年度目標
基準値に対する増減率	-					
評価	◎					
PLAN: 取組内容	返礼品のバリエーションや登録数を増やすために、定期便の創設 返礼品情報が分かり易く伝えるために、ポータルサイト内の返礼品写真の見直し 年末の寄附増加を見据えた有料広告の掲載 人気返礼品の数量の確保 県内寄付額上位市町村で構成している自治体連携に加入し、共同返礼品の出品や、意見交換会への参加					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和2年度のふるさと納税事業による寄付件数は12280件で、合計寄付金額は185,120,000円であった。					
CHECK: 分析	返礼品数を84から140に増やした(4月当初比)こと、また返礼品の掲載数の少なかったポータルサイトを重点的に返礼品の登録をしていくことで、各ポータルサイトにおいて、幅広いユーザーの目に留まりやすくなったことによる、閲覧件数自体の増加が考えられる。それにより、寄付件数が伸びたことが考えられる。					
ACTION: 今後の対応	今後においても、魅力ある特産品を全国にPRするために、未着手分野への新規返礼品の開拓やすでに実施している返礼品のリニューアル、リピートの多い返礼品については定期便による顧客の定着、メールマガジンの実施など、定期的にポータルサイトに訪問していただけるような仕掛けをしていく予定。 また、寄附の使い道等についても、寄附者が応援したくなるように、掲載内容を検討していく予定。					

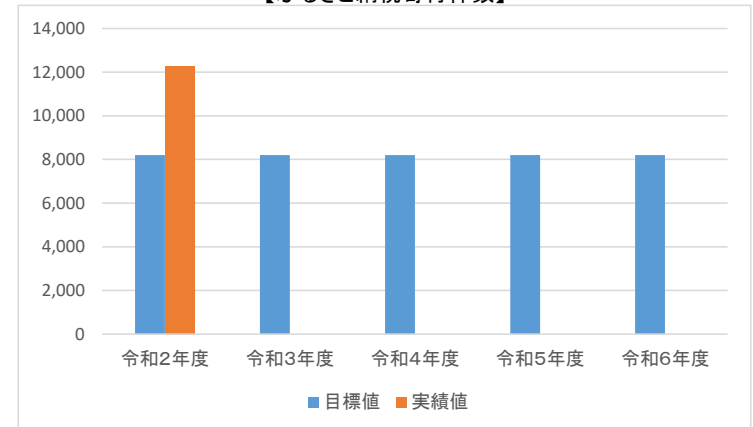
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【ふるさと納税寄付件数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番 9

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(2)	いの町への関わりをつくる				
具体的な施策	(ア)	多様な形で関わる人々「関係人口」づくり				
	②	いの町を「移住先」として選んでいただく				
項目	★	移住相談者数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★移住相談者数	300	件(年平均)以上	508	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	300	300	300	300	300	件(年平均)以上
実績値	193					件
目標に対する達成率	64%					単年度目標
基準値に対する増減率	-62%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	「いの町」を移住先を選んでいただくため、いの町移住応援サイト「ハッピーいの町ターン」の運用や県主催の移住フェアに参加するとともに、移住専門相談員を設置し移住相談に対し、きめ細かに対応する。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和2年度の移住相談者数は193人となった。					
CHECK: 分析	空き家バンク利用登録申請、移住相談等ニーズはあるものの、令和2年度は新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言により、都道府県間の往来に規制がかかるなどで相談件数が伸びなかったと考える。 また、高知県主催の移住フェアにおいても、オンラインでの参加となり例年に比べ相談者数が減少した。					
ACTION: 今後の対応	いの町の住み心地の評価や地方移住への関心が高まっていることをチャンスと捉え、引き続き、移住専門相談員の設置やホームページによる移住支援事業の紹介などにより、「いの町」を移住先として選んでいただけるようきめ細かに対応する。					

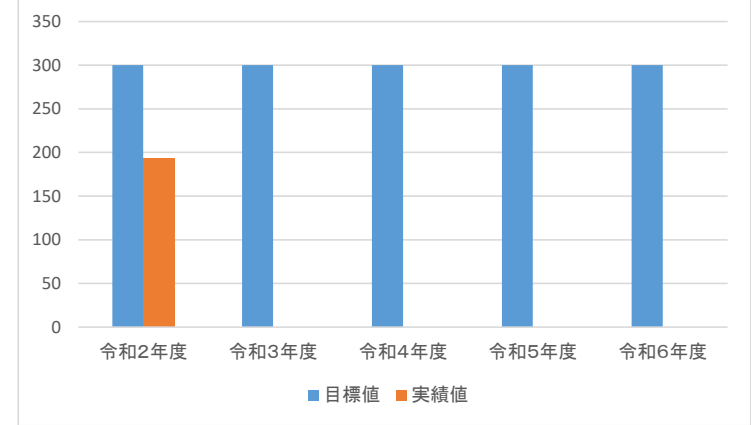
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【移住相談者数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番 10

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(2)	いの町への関わりをつくる				
具体的な施策	(ア)	多様な形で関わる人々「関係人口」づくり				
	②	いの町を「移住先」として選んでいただく				
項目	★	移住相談後、いの町を案内した人数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★移住相談後、いの町を案内した人数	50	人(年平均)以上		21	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	50	50	50	50	50	人(年平均)以上
実績値	56					人
目標に対する達成率	112%					単年度目標
基準値に対する増減率	167%					
評価	◎					
PLAN: 取組内容	移住応援サイト「ハッピーいの町ターン」で、空き家バンク物件・中間管理住宅を紹介し、移住希望者に希望の物件を案内する。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	移住応援サイト「ハッピーいの町ターン」で、下記物件を紹介し内見案内した人数は下記のとおり。 空き家バンク内見者数: 31人 中間管理住宅内見者数: 25人					
CHECK: 分析	土佐自由学校に入学を希望される方からの相談が増加しており、結果、内見案内数にも効果が出ている。 新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言の発令中は十分な案内ができなかったことにより、7月以降内見依頼が集中した。					
ACTION: 今後の対応	移住希望者に対し、紹介できる物件が少ないことが課題となっているため、引き続き、空き家調査等により空き家バンク物件、中間管理住宅物件を確保し、結果、内見案内者数の増加にも努める。					

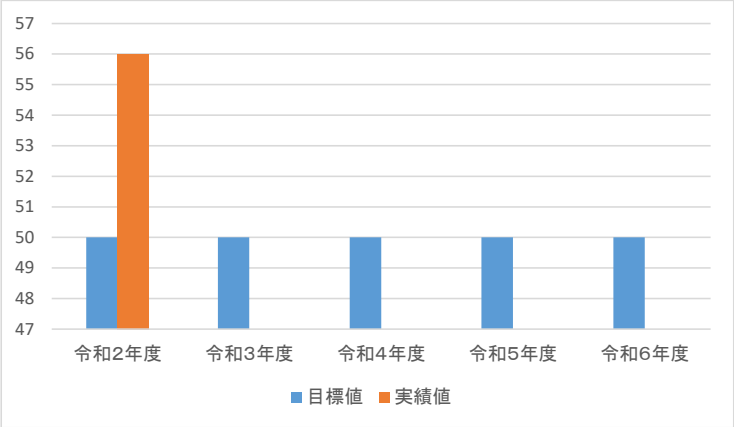
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【移住相談後、いの町を案内した人数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

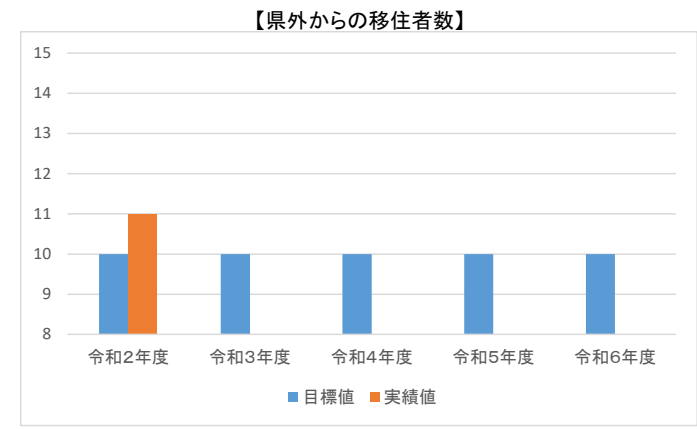
効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2 連番 11

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(3)	いの町に住んでいただく				
具体的な施策	(ア)	移住定住の促進				
項目	★	県外からの移住者数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★県外からの移住者数		10	人(年平均)以上	12	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	10	10	10	10	10	人(年平均)以上
実績値	11					人
目標に対する達成率	110%					単年度目標
基準値に対する増減率	-8%					
評価	◎					
PLAN: 取組内容	・県主催の移住フェアへの出店 ・移住専門相談員の設置 ・空き家バンク制度、中間管理住宅制度、お試し滞在住宅 主に以上の事業を実施し、いの町への移住者の増加・人口の社会減少の抑制を図る。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	【移住フェア】 新型コロナウイルス感染防止の観点から、令和2年度はオンラインでの出展となった。 【移住専門相談員の配置】 2名配置し、移住相談に対しきめ細かに対応できる体制を整備した。併せて、空き家調査も行った。 【空き家バンク・中間管理住宅】 空き家調査数: 96件 内、バンク登録物件数: 11件 中間管理住宅: 神谷地区へ1件(第3号)整備。 【お試し滞在住宅】 高野邸: 稼働率 14.1% 利用者: 5名					
CHECK: 分析	新型コロナウイルスの影響により、移住フェアの開催形式の変更や、移住相談やお試し滞在住宅の使用に制限を行ったものの、実績を達成することができた。いの町の自然や住み心地を求めて移住される方が多いことや、新型コロナウイルスにより地方移住への関心が高まっている。 空き家バンクの物件登録数が充分でなく、空き家調査は行っているものの空き家所有者の意向により登録まで至っていない。					
ACTION: 今後の対応	いの町の住み心地の評価やコロナ禍による地方移住への関心が高まっていることをチャンスと捉え、引き続き、移住者数の増加及び人口の社会減の抑制に向け事業を実施していく。 空き家バンク物件登録数の増加に向けては、過去に登録に至らなかった物件に対し、再度所有者に登録について意向を確認するなど後追いをやっていく。					

評価項目	◎ 目標値以上	総合評価項目	◎ 目標値以上
○ 目標値と同等	○ 目標値と同等	○ 目標値と同等	○ 目標値と同等
△ 目標値未満	△ 目標値未満	△ 目標値未満	△ 目標値未満
× 進捗なしor事業終了	× 進捗なしor事業終了	× 進捗なしor事業終了	× 進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)	
意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番	12
----	----

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(3)	いの町に住んでいただく				
具体的な施策	(イ)	町外からの人財・企業の誘致				
項目	★	町外からの山村留学生新規留学生数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
本川教育事務所	★町外からの山村留学生新規留学生数	3	人(年間)以上	7	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	3	3	3	人(年間)以上
実績値	7					人
目標に対する達成率	233%					単年度目標
基準値に対する増減率	0%					
評価	◎					
PLAN: 取組内容	本川中学校へのクラブ活動指導者の雇用					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和元年度から引き続き、北九州市出身の実力のある女性指導員(第62回九州学生バドミントン選手権大会女子ダブルスの部で優勝経験あり)を受け入れて、バドミントン部活動の充実した学校として中学校のホームページを利用し情報発信を行っている。また、スポーツ学を学んでおり、培った知識を十分に発揮し、地元生も含めて生活面、精神面でのフォローアップもできている。					
CHECK: 分析	年々山村留学希望者が増え、受け入れ生徒も増えた。 バドミントン部が魅力で山村留学を希望した生徒も複数いる。また部活動においては、成果が現れてきている。					
ACTION: 今後の対応	引き続き指導員を雇用し、精神面や生活面でも寄り添った指導をすることにより、更なる部活動の強化を図る。今後、地元生が益々少なくなる中、魅力ある学校として取組み、発信することで、更なる留学生確保に努めていく。					

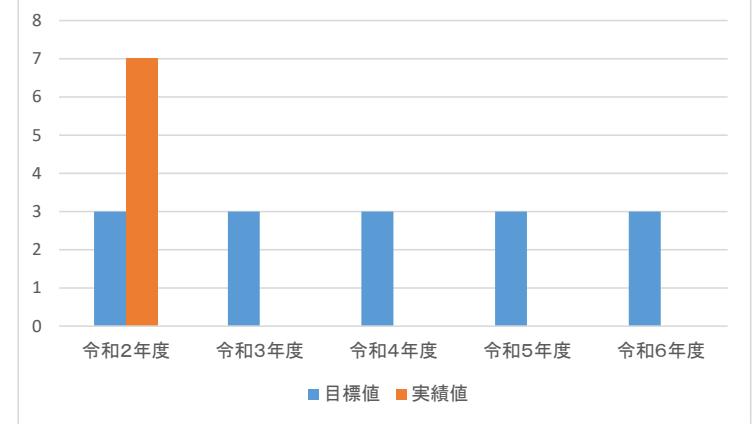
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【町外からの山村留学生新規留学生数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番 13

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(3)	いの町に住んでいただく				
具体的な施策	(イ)	町外からの人財・企業の誘致				
項目	★	中心市街地 新規開業事業所数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★中心市街地 新規開業事業所数	7	事業所	7	事業所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	1	1	1	事業所
実績値	2					事業所
目標に対する達成率	100%					
基準値に対する増減率	-71%					累計目標
評価	○					
PLAN: 取組内容	■ 企業立地の取り組み（いの町産業振興奨励金）等 ■ いの町空き店舗対策家賃補助助成事業（地方への移住促進・創業支援事業） ■ いの町中心市街地活性化計画を策定（H30.12月）					
DO: 実績 （事業内容等を記載）	いの町産業振興奨励金（四電エンジニアリング(株)）を実施した。 いの町空き店舗対策家賃補助助成事業（5件ヴェロニカペルシカ、犬の美容室かげろう、山里工房、コクバンカフェ、GOODFIVE）を実施した。いの町ホームページに支援内容を引き続き掲載した。れんけいこうちでHPを作成、広域での取り組みを始めた。 新規開業（コクバンカフェ、GOODFIVE）					
CHECK: 分析	基準値を下回っているが、シェアオフィス（コクバンオフィス）ができたことにより、町内でオフィスを構えやすく起業しやすい環境が整いつつある。					
ACTION: 今後の対応	れんけいこうちの取組みと連携を図り、支援策の情報発信力を向上させるとともに、移住者等の創業やリモートオフィスとしても目をとめてもらえるよう、商工会と連携して空き店舗の情報収集にも努める。					

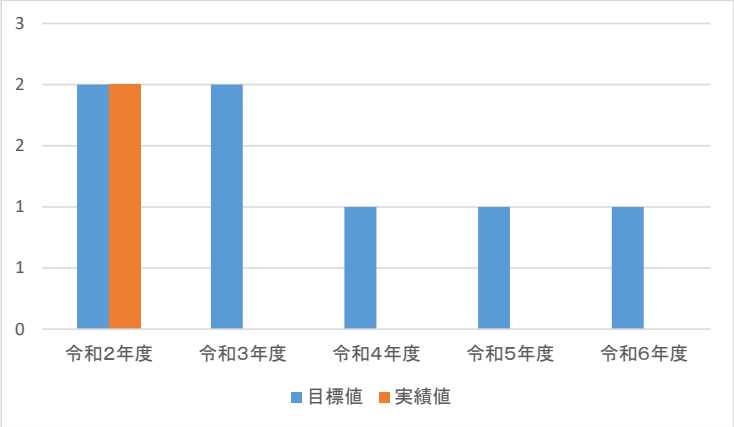
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【中心市街地 新規開業事業所数】



推進委員会による検証評価（意見等）

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

総合戦略効果検証シート 基本目標3

基本目標3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する

基本的方向	連番	担当課	具体的な施策(詳細)	R2目標値	R2実績値	総合評価	R6(最終年度)時点	単位	累計
(1)誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進 (2)女性の活躍の場を拡大する	1	総合政策課	出会いイベント数	2回	1回	△	8	回	○
	2	総合政策課	出会いイベントでのマッチング数	3組	3組	○	14	組	○
	3	総合政策課	サポーター数(婚活・マッチング・サブ)	3人	0	△	14	人	○
	4	教育委員会	子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く。)	7,100人以上	4,277人	△	7,100	人(年平均)以上	
	5	教育委員会	子育て支援センター内プレママほっとルームへの来訪者数	100人以上	206人	◎	100	人(年平均)以上	
	6	ほけん福祉課	1歳6か月児健診の受診率	100%	100%	○	100	%	
	7	ほけん福祉課	3歳児健診の受診率	100%	98.6%	△	100	%	
	8	教育委員会	児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む。)	1,300件以下	1,219件	◎	1,300	件(年平均)以下	
	9	教育委員会	延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施	3箇所以上	3箇所	○	3	箇所以上	
	10	教育委員会	乳児保育の実施	6箇所以上	6箇所	○	6	箇所以上	
	11	教育委員会	一時預かり事業	2箇所以上	2箇所	○	2	箇所以上	
	12	教育委員会	地域子育て支援拠点事業の実施箇所	1箇所	1箇所	○	1	箇所	
	13	教育委員会	放課後児童クラブへの主任支援員配置人数	2名以上	2名	○	2	名以上	
	14	教育委員会	放課後児童クラブ常勤支援員の専門資格取得率	50%以上	55%	◎	50	%以上	
	15	教育委員会	放課後子ども教室開設数(週2回以上開設か所)	5箇所以上	5箇所	○	5	箇所以上	
	16	教育委員会	4か月健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率	90%以上	0%	×	90	%以上	
	17	教育委員会	4か月健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つと感じた割合	100%	0%	×	100	%	

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番 1

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	①	独身者への総合的な出会い・きっかけ支援				
項目	★	出会いイベント数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★出会いイベント数	8	回	3	回	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	4	6	7	8	回
実績値	1					回
目標に対する達成率	50%					
基準値に対する増減率	-67%					累計目標
評価	△					
PLAN: 取組内容	出会いのきっかけづくりだけでなく、地域の特色・特産を体験・味わうことで、町の魅力を感じていただけるようなイベントを、企業・団体とタイアップして開催する。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和2年度においては吾北地区で開催することとし、mowキャンドル・高知アイスと連携し、キャンドル作り・スイーツ交流を行った。 男女10名ずつの参加定員としており、定員以上の申込みがあったものの、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、規模を縮小し男女6名ずつの参加とした。					
CHECK: 分析	キャンドル作り・スイーツ交流といった体験型イベントにしたことと、バスでの送迎を行ったことで遠方からも参加しやすいイベントとした。結果、多くの参加申込をいただくことができ、イベント自体も男女が満遍なく交流できるよう工夫することで、高評価をいただいた。 しかし、町内在住者の参加が少ないことが課題となっており、在州市町村開催のイベントへの参加に躊躇する傾向がある。					
ACTION: 今後の対応	新型コロナウイルス感染症防止も考慮しながら、今後も出会いのきっかけ作りだけでなく地域の魅力を盛り込んだ男女対面型の出会いイベントを企画・開催する。 町内在住者の参加が少ないことから、参加資格を町内在住者に限定するなど、町内の参加者を増やすイベントを検討する。					

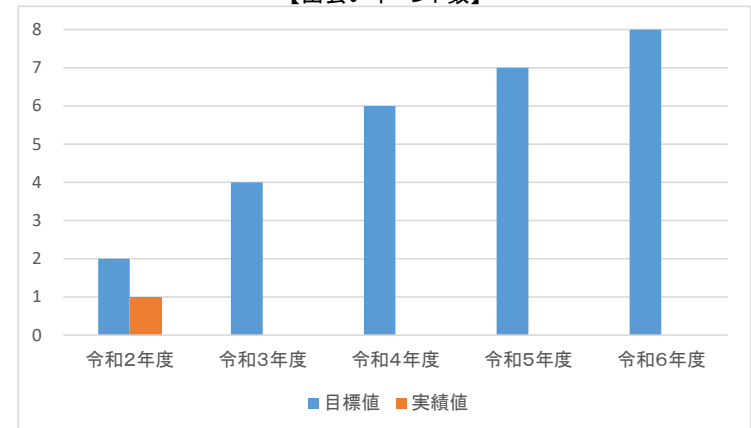
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【出会いイベント数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番 2

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	①	独身者への総合的な出会い・きっかけ支援				
項目	★	出会いイベントでのマッチング数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★出会いイベントでのマッチング数	16	組	-	組	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	6	9	12	14	組
実績値	3					組
目標に対する達成率	100%					
基準値に対する増減率	-					累計目標
評価	○					
PLAN: 取組内容	出会いイベント内容において、男女が満遍なく交流できるよう工夫し、マッチング数を少しでも増やす。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和2年度吾北地区で開催したイベントにおいては、3組のマッチングが成立した。					
CHECK: 分析	イベントの前段で1対1のプロフィールトークを行い、参加者同士の緊張感の緩和を図り、また、キャンドル作りでは、男女が協働で作業できるよう男女3対3のグループ分けを行ったり、スイーツ交流では適宜席替えを行ったり、男女が満遍なく交流できるよう工夫を凝らした結果であると分析する。					
ACTION: 今後の対応	他市町村・他団体のイベント事例を研究し、引き続き、男女が満遍なく交流できるようイベント内容を工夫することで、マッチング数の増加を図る。					

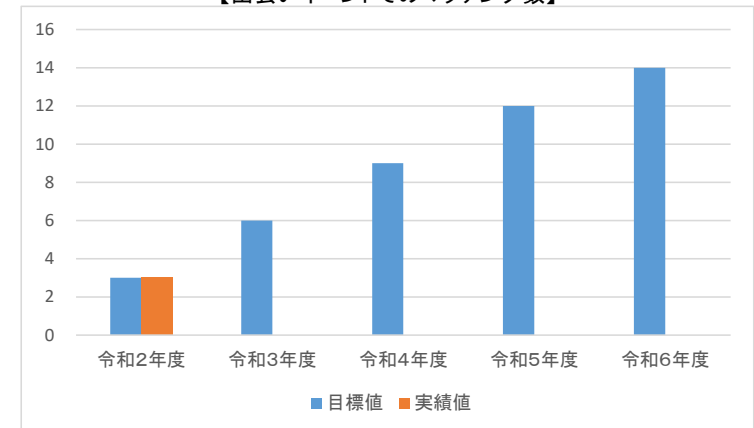
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【出会いイベントでのマッチング数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番	3
----	---

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	①	独身者への総合的な出会い・きっかけ支援				
項目	★	サポーター数(婚活・マッチング・サブ)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★サポーター数(婚活・マッチング・サブ)	14	人	-	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	6	9	12	14	人
実績値	0					人
目標に対する達成率	0%					
基準値に対する増減率	-					累計目標
評価	△					
PLAN: 取組内容	希望する誰もが安心して希望の時期に結婚できるよう、婚活でのカップル成立から結婚に繋げるために、その支援に携わるサポーターの養成にも取り組む。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	養成には至らなかった。					
CHECK: 分析	高知県が開催しているサポーター養成講座のポスター周知のみであったため、サポーター制度・養成講座の広報が充分でなかったものと考えている。					
ACTION: 今後の対応	周知方法の工夫だけでなく、地域で活発的に活動されている方、婚活に興味がある方ピンポイントで制度・養成講座の周知を行っていきたいと考えている。					

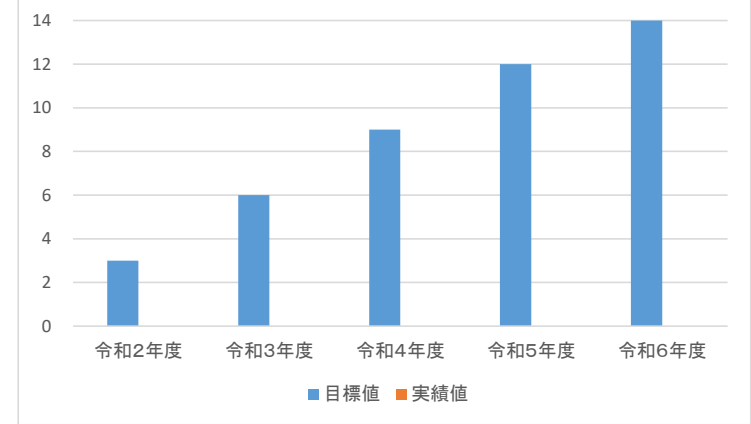
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【サポーター数(婚活・マッチング・サブ)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番	4
----	---

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(2)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く)	7,100	人(年平均)以上	6,828	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	人(年平均)以上
実績値	4,277					人
目標に対する達成率	60%					単年度目標
基準値に対する増減率	-37%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	地域子育て支援拠点事業 妊娠期から子育て家庭への支援の充実。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	子育て支援センターへの来訪者数4,277人。 保育士の視点から各種事業を推進し、機能の強化充実を図る。また、母子保健事業との連携により、妊娠期から子育て期までの段階に応じた、きめ細かな支援、助言、指導を行い、出産や育児への不安感を和らげる取り組みを展開。 ※(事業内容: 子育て家庭の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育て及び、子育て支援に関する講習等の実施)					
CHECK: 分析	町の子育て支援拠点として重要。特に0～2歳の未就園児家庭を支援する仕組みとして必要な事業である。					
ACTION: 今後の対応	引き続き、妊娠期から子育て家庭までの包括的な支援を目指して、保健・福祉と連携した切れ目のない子育て支援体制を推進する。					

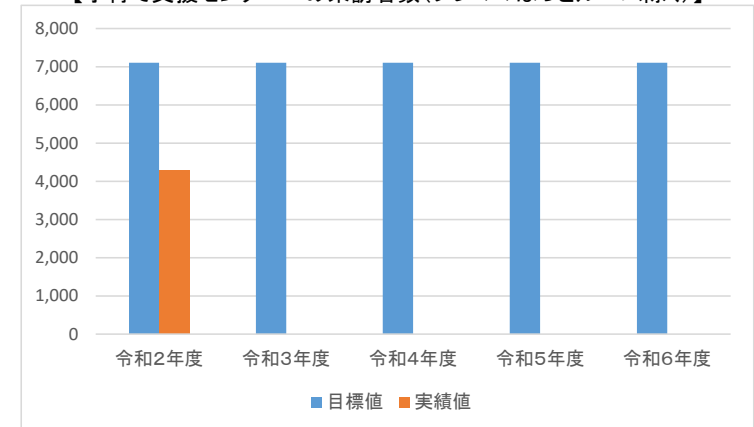
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

5

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	②	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	子育て支援センター内プレママほっとルームへの来訪者数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★子育て支援センター内プレママほっとルームへの来訪者数	100	人(年平均)以上	329	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	100	100	100	100	100	人(年平均)以上
実績値	206					人
目標に対する達成率	206%					単年度目標
基準値に対する増減率	-37%					
評価	◎					
PLAN: 取組内容	・産前産後の母親のストレス緩和、赤ちゃんの「心の安全基地づくり」の推進(なないろはあと事業) ・プレママほっとルームの活用(産前産後の母親の居場所) 妊娠期から子育て期までの段階に応じた、きめ細かな支援、助言、指導を行い、不安感の解消に向けた取り組みを展開していく。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	206人 より良い愛着形成のスタート時期である妊婦や就園前の親子、その家族を対象に、小児科医師や助産師との座談会、ベビーマッサージ、ベビー＆ママヨガ等を子育て支援センターで定期的を実施。産前産後の母親の心身の変化や、乳幼児期の成長・発達等への理解を深めていくことや、産前産後の母親が集い、交流を図ることで、出産や育児への不安感を和らげる施策を展開。					
CHECK: 分析	妊娠期からの支援が重要であり、事業内容の充実やプレママほっとルームの有効活用による。					
ACTION: 今後の対応	引き続き、妊娠期から子育て家庭までの包括的な支援を目指して、保健・福祉と連携した切れ目のない子育て支援体制を推進する。					

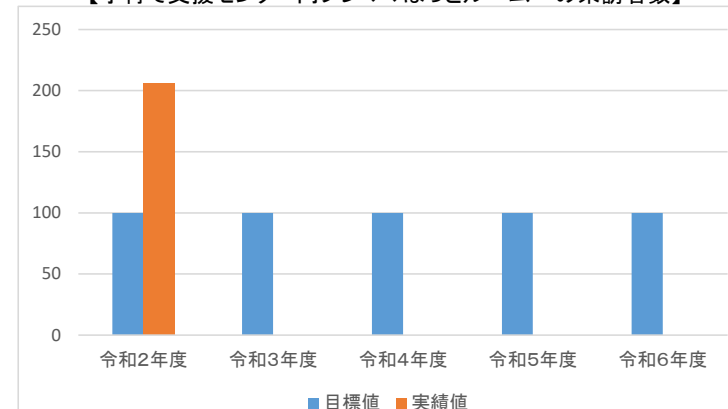
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【子育て支援センター内プレママほっとルームへの来訪者数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	コロナ禍でありながら、プレママほっとルームへの来訪者数の目標値を達成できた理由は？ ↓ [回答]保護者のつながりで利用している方もおり、保護者同士での取組みにより、利用者増加につながったのではないかと考える。
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番 6

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	②	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	1歳6か月児健診の受診率				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
ほけん福祉課	★1歳6か月児健診の受診率	100	%	98.4	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	100	100	100	100	100	%
実績値	100					%
目標に対する達成率	100%					単年度目標
基準値に対する増減率	2%					
評価	○					
PLAN: 取組内容	母子保健事業の充実(乳幼児健診)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	多職種による乳幼児健診を実施し、乳幼児の発育・発達状況を確認するとともに、育児不安を抱く親を把握し、助言を行いながら個々の子育て家庭に寄り添った支援を実施した。					
CHECK: 分析	・健診未受診者に、保健師の訪問等により児の状態を確認するとともに、健診受診勧奨を行い、受診につなげた。 ・健診の場で保健師や言語聴覚士、保育士など多職種で親子を観察し、言葉や発達の相談や保健指導を実施。対象児の半数以上が何らかのフォローが必要となっており、親カウンセリング事業、言語聴覚士の個別相談、園訪問等で継続対応している。					
ACTION: 今後の対応	・子育て世代包括支援センターの母子保健コーディネーターと、地区担当保健師が連携しながら、妊娠期から継続した関わりを持ち、健診受診勧奨、健診時の育児相談対応および、事後フォローを行うなど切れ目のない支援を実施していく。					

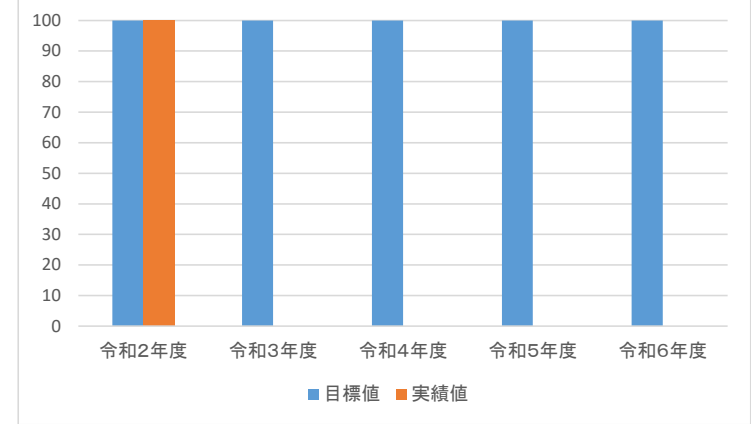
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【1歳6か月児健診の受診率】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番 7

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	②	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	3歳児健診の受診率				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
ほけん福祉課	★3歳児健診の受診率		100	%	98.1	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	100	100	100	100	100	%
実績値	98.6					%
目標に対する達成率	99%					単年度目標
基準値に対する増減率	1%					
評価	△					
PLAN: 取組内容	母子保健事業の充実(乳幼児健診)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	多職種による乳幼児健診を実施し、乳幼児の発育・発達状況を確認するとともに、育児不安を抱く親を把握し、助言を行いながら個々の子育て家庭に寄り添った支援を実施した。					
CHECK: 分析	・健診未受診者に、保健師の訪問等により児の状態を確認するとともに、健診受診勧奨行い、受診につなげた。未受診者6名中4名は、令和3年度再勧奨予定、その他2名は、法定年齢を超えたため未受診とするが、来所対応し現状把握できている。 ・健診の場で保健師や言語聴覚士、保育士など多職種で親子を観察し、言葉や発達の相談や保健指導を実施。対象児の半数以上が何らかのフォローが必要となっており、親カウンセリング事業、言語聴覚士の個別相談、園訪問等で継続対応している。					
ACTION: 今後の対応	・子育て世代包括支援センターの母子保健コーディネーターと、地区担当保健師が連携しながら、妊娠期から継続した関わりを持ち、健診受診勧奨、健診時の育児相談対応および、事後フォローを行うなど切れ目のない支援を実施していく。					

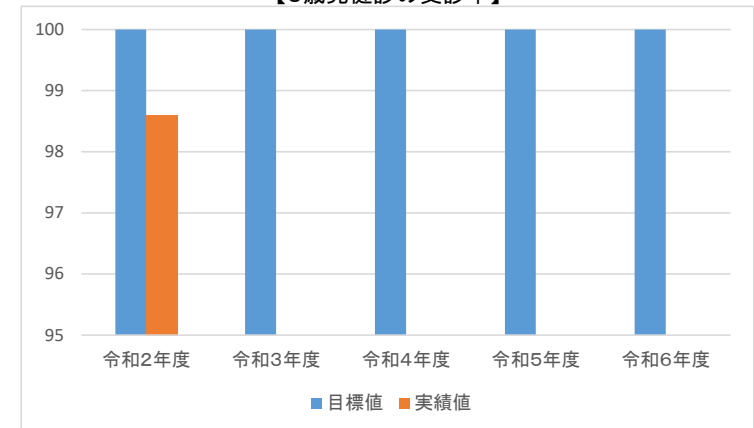
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【3歳児健診の受診率】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番 8

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	②	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む)		1,300	件(年平均)以下	1,384	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	件(年平均)以下
実績値	1,219					件
目標に対する達成率	-6%					単年度目標
基準値に対する増減率	-12%					
評価	◎					
PLAN: 取組内容	児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む。) 子どもや保護者等からの相談を受け付け、福祉、保健、医療、教育等の関係機関と連携して、子どもの福祉に関する支援業務を行う。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	1,219件 実情の把握、関係機関と情報共有、子どもや保護者への面談等による継続的な支援を実施した。					
CHECK: 分析	家庭の状況に応じた最善な支援が実現できるよう、課題の的確な把握に努め、対象家庭への面談等の継続的な支援を行うなど、養育状況の改善に努めた。					
ACTION: 今後の対応	教育・保健・福祉・医療等の関係機関と緊密に連携し、様々な社会資源を活用して、養育状況の改善が図られるよう、適切な支援を実施する。					

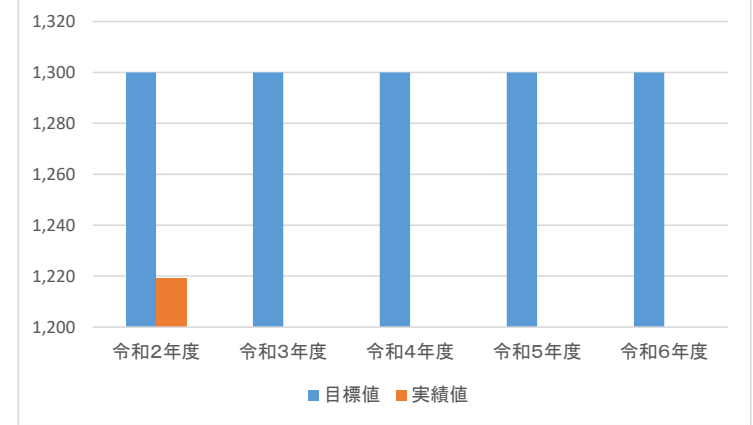
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

9

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施		3	箇所以上	3	箇所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	3	3	3	箇所以上
実績値	3					箇所
目標に対する達成率	100%					単年度目標
基準値に対する増減率	0%					
評価	○					
PLAN: 取組内容	延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	伊野保育園、あいの保育園、神谷保育園において実施					
CHECK: 分析	延長保育実施により、保護者の就労状況に沿った保育園での受け入れを行い、子育て支援の充実を図った。					
ACTION: 今後の対応	保護者のニーズ及び提供体制により実施を検討する。					

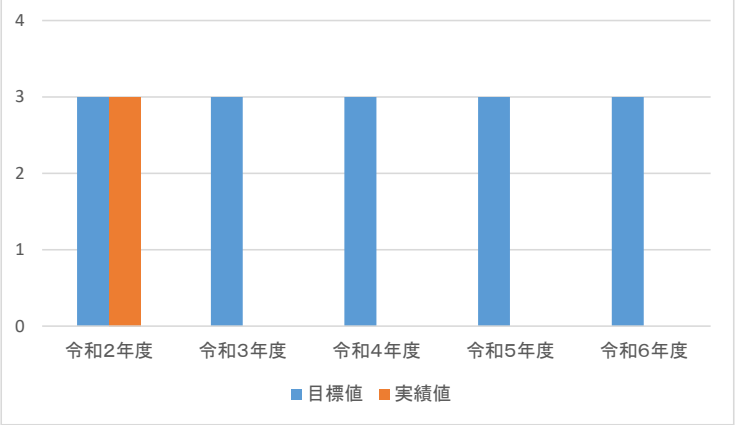
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	延長保育について、今後実施箇所が増える見込みは？ ↓ [回答]ニーズがあれば検討する。
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

10

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	乳児保育の実施				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★乳児保育の実施		6	箇所以上	6	箇所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	6	6	6	6	6	箇所以上
実績値	6					箇所
目標に対する達成率	100%					単年度目標
基準値に対する増減率	0%					
評価	○					
PLAN: 取組内容	乳児保育の実施					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	伊野保育園、あいの保育園、天神保育園、神谷保育園、認定こども園えだがわ、認定こども園ごほくにおいて実施					
CHECK: 分析	共働き世帯の増加により、乳児保育へのニーズが高まっている。乳児保育を6園で実施し、受け入れ体制の充実を図った。					
ACTION: 今後の対応	引き続き、保護者のニーズに沿った支援体制を検討する。					

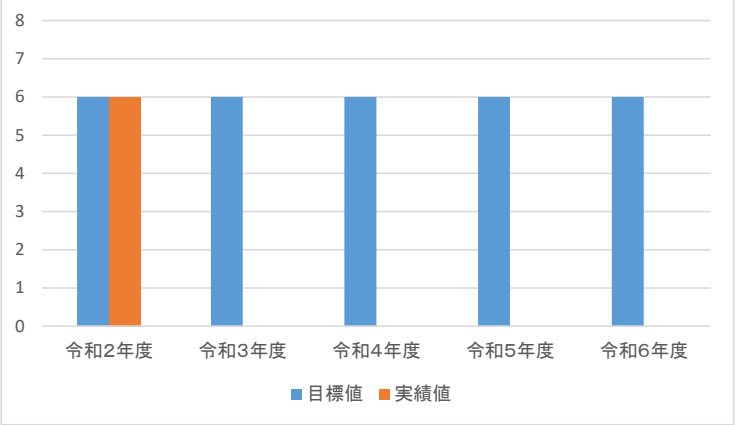
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【乳児保育の実施】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番 11

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	一時預かり事業				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★一時預かり事業		2	箇所以上	2	箇所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	2	2	2	箇所以上
実績値	2					箇所
目標に対する達成率	100%					単年度目標
基準値に対する増減率	0%					
評価	○					
PLAN: 取組内容	一時預かり事業					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	あいの保育園、認定こども園えだがわにおいて実施					
CHECK: 分析	一時的に家庭での保育が困難となる場合や、保護者の育児疲れ等により一時預かり事業への利用ニーズが高まっている。一時預かり事業を2園で実施し、受け入れ体制の充実を図った。					
ACTION: 今後の対応	月により利用者の変動はあるが、受け入れ可能児童数をやや下回っているため、現箇所での実施を継続して行う。					

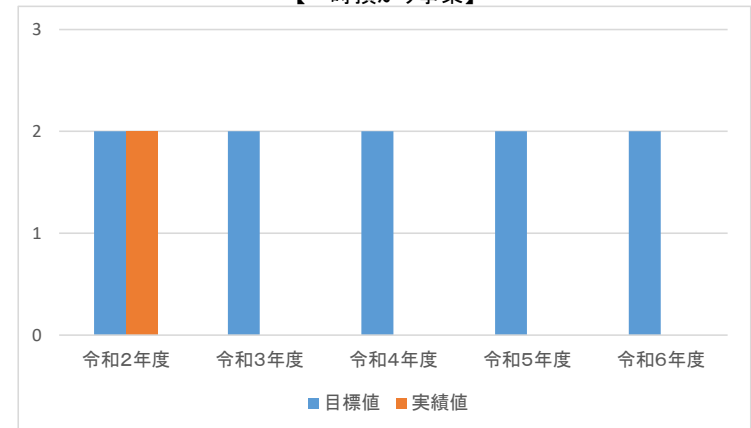
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【一時預かり事業】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番	12
----	----

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	地域子育て支援拠点事業の実施				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★地域子育て支援拠点事業の実施		1	箇所	1	箇所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1	1	1	1	1	箇所
実績値	1					箇所
目標に対する達成率	100%					単年度目標
基準値に対する増減率	0%					
評価	○					
PLAN: 取組内容	地域子育て支援拠点事業 妊娠期から子育て家庭への支援の充実。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	地域子育て支援拠点として、「ぐりぐらひろば」1カ所をいの町総合健康センターに開設。(妊婦、子育て家庭を対象とした交流の場の提供と日常的な見守り。) 保育士を配置し、妊娠期から子育て期までの段階に応じた、きめ細かな支援、助言、指導を行うことにより、出産や育児への不安感を和らげる取り組みを展開。 関係機関や地域と連携し、子育て家庭を地域ぐるみで見守る支援体制を促進。					
CHECK: 分析	町の子育て支援推進事業として重要な拠点。特に0～2歳の未就園児の家庭を支援する仕組みとして必要な事業である。					
ACTION: 今後の対応	引き続き、妊娠期から子育て家庭までの包括的な支援を目指して、保健・福祉と連携した切れ目のない子育て支援体制を推進する。					

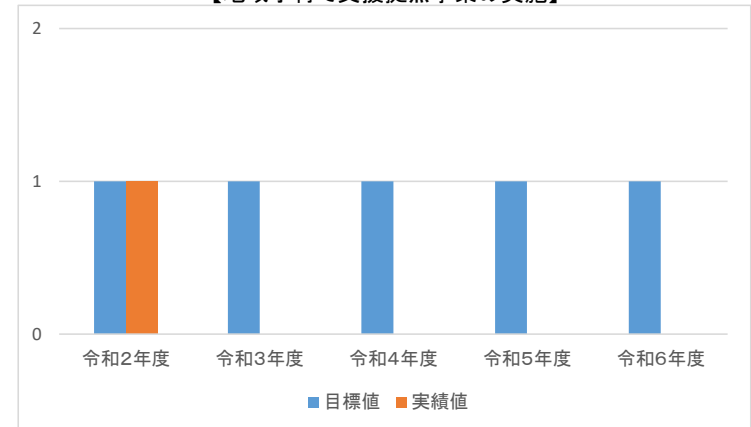
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【地域子育て支援拠点事業の実施】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番 13

基本目標	3結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する					
基本的方向	(1)(2)誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する					
具体的な施策	(ア)安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する					
	②①妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備					
項目	★放課後児童クラブへの主任支援員配置					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★放課後児童クラブへの主任支援員配置		2	名以上	2	名
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	2	2	2	名以上
実績値	2					名
目標に対する達成率	100%					単年度目標
基準値に対する増減率	0%					
評価	○					
PLAN: 取組内容	令和2年度までの間 児童クラブへ主任支援員を2名以上配置					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	伊野小学校ひまわり児童会と枝川小学校さくらんぼ児童会に1名ずつ配置できた。退職後の人材確保に苦慮した。					
CHECK: 分析	令和2年度途中に伊野小学校の主任支援員が退職したが、2名の主任支援員を配置することができた。平成29年度から主任配置児童クラブにはパソコンを整備し、昨年と同様に児童クラブに係る簡易な事務処理は各現場で行えるようになっている。(保護者へ配布のおたよりなどの決裁は教育委員会事務局) 今後は、各児童会のIT関連の充実が必要と感じている。					
ACTION: 今後の対応	今後においても継続して主任支援員を配置し、児童会全体の把握に努め、支援員間の中心的な立場として情報を共有するとともに、学校及び教育委員会事務局間の連絡調整を行い連携をより強めていく。また、補助事業を活用し各児童会のIT関連の整備も検討していく。					

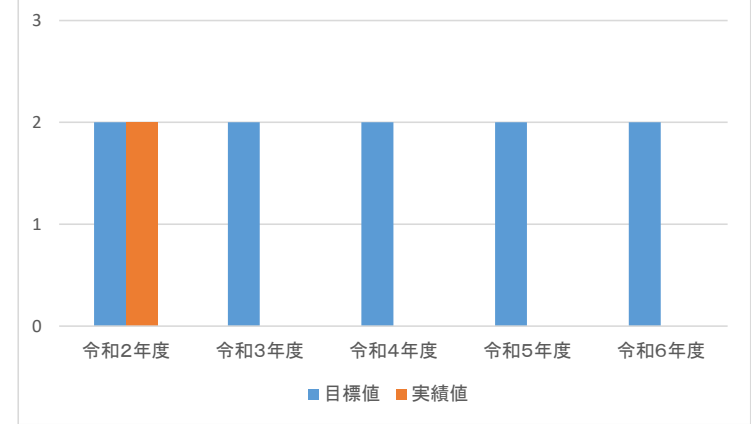
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【放課後児童クラブへの主任支援員配置】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

14

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	放課後児童クラブ常勤支援員の専門資格取得者率				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★放課後児童クラブ常勤支援員の専門資格取得者率	50	%以上	-	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	50	50	50	50	50	%以上
実績値	55					%
目標に対する達成率	110%					単年度目標
基準値に対する増減率	-					
評価	◎					
PLAN:取組内容	令和2年度までの間 直営の放課後児童クラブにおける常勤支援員の放課後児童支援員認定資格取得者を14名以上					
DO:実績 (事業内容等を記載)	児童会名	常勤支援員数	認定資格取得者数	※令和3年3月31日現在		
	ひまわり児童会(伊野小)	7	1	取得率 55.0%		
	なのはな児童会(伊野小)	5	3			
	さくらんぼ児童会(枝川小)	8	4			
	ホットハウス児童会(枝川小)	2	2			
	たんぽぽ児童会(川内小)	2	2			
	むささび児童会(吾北小)	3	1			
	ログハウス児童会(伊野南小)	10	7			
	ログハウス児童会第二(伊野南小)	3	2			
	合計	40	22			
CHECK:分析	高知県が開催する放課後児童支援員認定資格研修は年1回(4日間)開催され、受講資格のある7名が令和2年度受講し、資格を取得した。					
ACTION:今後の対応	今後も、受講資格の条件を満たすものには、受講を促すよう、面談でも周知徹底する。					

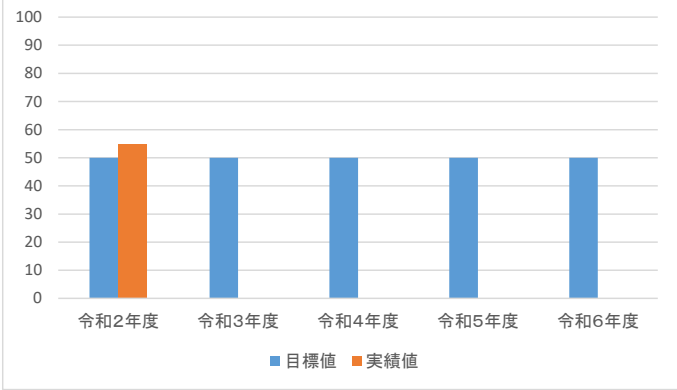
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【放課後児童クラブ常勤支援員の専門資格取得者率】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番 15

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	放課後子ども教室開設数(週2回以上開設箇所)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★放課後子ども教室開設数(週2回以上開設箇所)	5	箇所以上	5	箇所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	5	5	5	5	5	箇所以上
実績値	5					箇所
目標に対する達成率	100%					単年度目標
基準値に対する増減率	0%					
評価	○					
PLAN: 取組内容	令和2年度までの間 週2回以上開設箇所5箇所以上					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	枝川小学校放課後子ども教室・伊野南小学校放課後子ども教室・伊野小学校放課後子ども教室・神谷小学校放課後子ども教室・長沢小学校放課後子ども教室において週2回以上の開設を行った。					
CHECK: 分析	実績のとおり、5か所において週2回以上の開設を行い、放課後における学習活動等の充実を図ることができた。					
ACTION: 今後の対応	今後においても継続して放課後学習活動の充実を図っていく。現状の取組みが継続できる体制の確保と予算措置を継続して確保していきたい。					

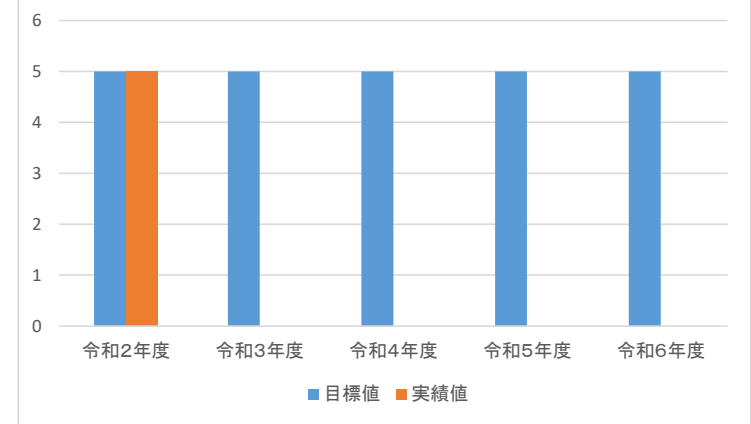
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【放課後子ども教室開設数(週2回以上開設箇所)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

16

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(2)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	4か月児健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★4か月児健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率	90	%以上	97.8	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	90	90	90	90	90	%以上
実績値	0					%
目標に対する達成率	0%					単年度目標
基準値に対する増減率	-100%					
評価	×					
PLAN: 取組内容	■ 妊婦、乳幼児親子への読み聞かせや本との出会い事業の推進 (心をそだてる人財育成推進事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	プレママほっとルームへの配本 町内小中学校図書室支援 【休止】 4か月児健診時「ブックスタート事業」 町内乳幼児健診会場訪問(読み聞かせや読書案内) ぐりぐらひろば訪問(おはなし会・読書相談・絵本紹介)					
CHECK: 分析	令和2年度のブックスタート対象者(=4か月児健診対象者)は94名であったが、コロナ対策により4・7か月児健診が開催されなかったため健診会場での配布ができず、またアンケートも実施できなかった。代替策として、ほけん福祉課から対象者に引換券を送付してもらい、図書館へ来館した方に読み聞かせをしてブックスタートバックを手渡す形式をとった。その結果52%(49組)の親子が図書館に来館した。絵本の活用率については、アンケートの実施ができていないことから割合の把握ができなかった。					
ACTION: 今後の対応	いの町に生まれ育つすべての子どもにブックスタートを実施することを目標に、コロナ禍での事業実施について関係機関と連携のもと調整を図る。また令和2年度にブックスタートを受けていない48%の親子に対しては、令和3年度中に配布できるよう対策を講じる。					

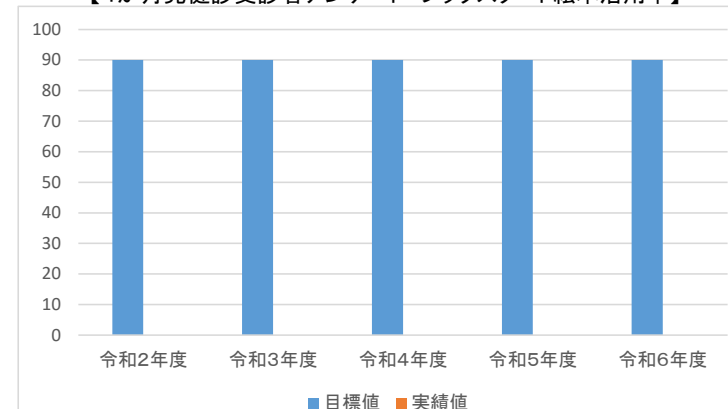
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【4か月児健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	×
	進捗なしor事業終了

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する			
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進			
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築			
	(イ)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進			
項目	★	4か月児健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つと感じた割合			
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度
	令和6年度				実績等
教育委員会	★4か月児健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つと感じた割合	100	%	100	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	100	100	100	100	100
実績値	0				
目標に対する達成率	0%				
基準値に対する増減率	-100%				
評価	×				
PLAN: 取組内容	■ 妊婦、乳幼児親子への読み聞かせや本との出会い事業の推進 (心をそだてる人財育成推進事業)				
DO: 実績 (事業内容等を記載)	【休止】 4か月児健診時「ブックスタート事業」 町内乳幼児健診会場訪問(読み聞かせや読書案内) ぐりぐらひろば訪問(おはなし会・読書相談・絵本紹介)				
CHECK: 分析	コロナ対策により4・7か月児健診が開催されなかったため、健診会場でのアンケートが実施できていないことから「絵本が親子の触れ合いに役立つ」と感じた保護者の割合については把握ができなかった。 また令和2年度は乳幼児を対象とする取り組みがほとんどできず、図書館員が来館者以外の乳幼児親子に直接読書支援を行うことができなかった。 図書館の利用について年齢別統計で見ると、前年度まで増加傾向にあった“町内の0～6歳の利用状況”が、2020年度においては新規登録者数60名(前年度113名)・延べ利用者数955名(前年1,285名)と減少している。利用率の低下はコロナ禍という社会的状況も一因と考えられるが、乳幼児健診や子育て支援センターでの読書支援が図書館利用のきっかけになっていたことも考えられ、コロナ禍での事業実施方法を検討しなければならない。				
ACTION: 今後の対応	図書館では感染症対策を徹底し、安心して来館・利用できる環境を整備すると同時に、来館された乳幼児親子には、個別に読み聞かせをしたり読書相談に応じたりして、絵本を子育てや親子の触れ合いのきっかけに活かしてもらえよう継続的に支援を行う。また、状況の変化に対応できる事業展開の方法を検討していく必要がある。				

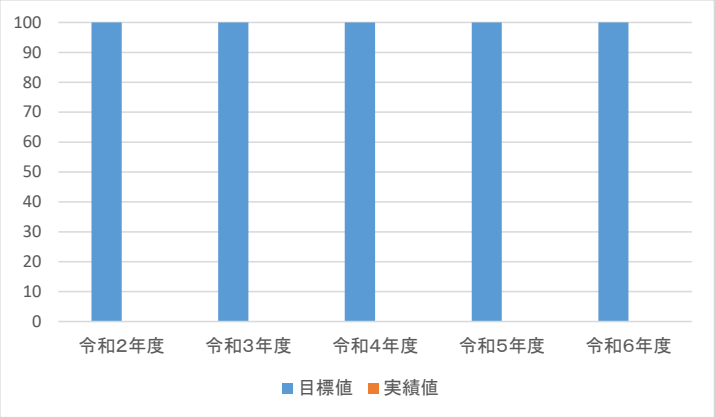
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【4か月児健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つと感じた割合】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	×

総合戦略効果検証シート 基本目標4

基本目標4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

基本的方向	連番	担当課	具体的な施策(詳細)	R2目標値	R2実績値	総合評価	R6(最終年度)時点	単位	累計
(1) 中心市街地内の商店街通りエリアでにぎわい創出事業を展開し、若者流出を食い止め、まちなかに活力を取り戻す取組の推進強化を図る (2) 中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援	1	総合政策課・吾北産業課・本川産業建設課	集落活動センターの開設	2箇所	2箇所	○	3	箇所	
	2	ほけん福祉課	あったかふれあいセンター等の整備 拠点	2箇所	2箇所	○	2	箇所	
	3	ほけん福祉課	あったかふれあいセンター等の整備 サテライト	3箇所	3箇所	○	3	箇所	
	4	本川住民福祉課	本川地区内の路線バス維持に向けた雇用	3人	4人	◎	3	人	
	新	産業経済課	(基本目標1から再掲) 中心市街地 新規開業事業所数	2事業所	2事業所		7	事業所	○
	新	産業経済課	(R3から) 中心市街地内商店街通りの通行量(定点5か所調査合計値)	-	-		平日928・休日705	人	

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4

連番	1
----	---

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(1)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
	①	小さな拠点の開設・強化				
項目	★	集落活動センターの開設数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課・吾北産業課・本川産業建設課	★集落活動センターの開設数	3	か所	2	か所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	2	2	3	か所
実績値	2					か所
目標に対する達成率	100%					複数年度 目標
基準値に対する増減率	0%					
評価	○					
PLAN: 取組内容	中山間地域の維持・創生に向け、小さな拠点として「集落活動センター（地域の支え合いや活性化の拠点）の整備促進や小規模で多機能な高知型福祉の支援拠点として、あったかふれあいセンターの整備・機能強化を図るとともに、地域の資源や特性を活かした産業づくり支援を促進する。					
DO: 実績 （事業内容等を記載）	【柳野】 令和2年度より本格的にイタダリの加工販売に取り組んだ。出荷量はまだまだ少ないが、生育状況は順調であり、今後増えていくものと思われる。 【氷室の里】 原木まいたけ、まいたけほだ木、菌床あさげきくらげ、原木なめこ等の販売を高知市の金高堂やとさの里で計2日間行った。 また今年度から新たに、西条市のいとまちマルシェで生まいたけの販売を1日間行った。					
CHECK: 分析	【柳野】 直売施設の運営、配食サービス、イタダリの栽培等、施設・環境を十分に活用した取り組みがなされている。イベントは、新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止となった。 【氷室の里】 今年度はまいたけの増産を目指した結果、出荷量・販売額が向上した。新型コロナウイルスの影響があり、販売先の売上減少が心配されたが、新規卸業者の開拓、ふるさと納税の増加、イベントへの参加等により、各種特産物の売上向上につながった。					
ACTION: 今後の対応	【柳野】 HACCPへの対応等センターの運営について、引き続き高知県地域支援企画員・中央西農業振興センターと連携し支援していく。 【氷室の里】 「まいたけ」を中心とする「きのこ」の生産、販売、流通体制を確立し、「きのこの里」として当該地域が広く認知されることを目指す。定期的な集いの開催やイベント参加・出店・試食販売、営業先の開拓や本川じゃがいもの栽培・販売をおこなう。					

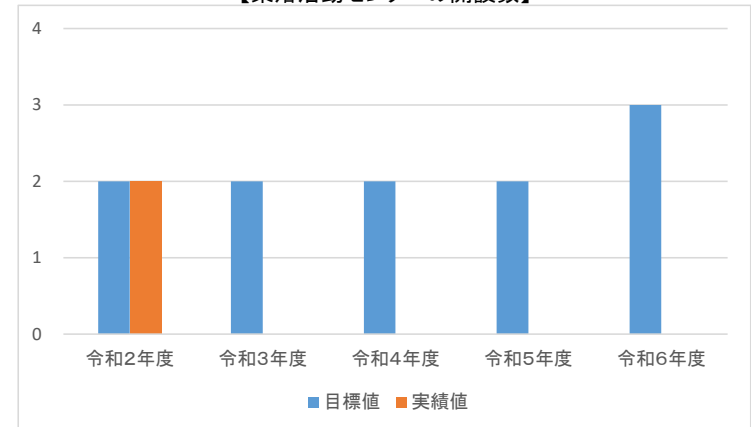
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【集落活動センターの開設数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4

連番

2

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(1)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
	①	小さな拠点の開設・強化				
項目	★	あったかふれあいセンター等の整備 拠点				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
ほけん福祉課	★あったかふれあいセンター等の整備 拠点	2	か所	2	か所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	2	2	2	か所
実績値	2					か所
目標に対する達成率	100%					複数年度目標
基準値に対する増減率	0%					
評価	○					
PLAN:取組内容	【5か年度の目標】 子どもから高齢者まで年齢や障害の有無に関わらず、誰もが気軽に集える場所を提供するとともに、地域住民の健康づくり、生きがいづくり活動や要配慮者宅の訪問、相談、つなぎ、生活支援を行う。集いでは、介護予防体操や脳トレ、認知症カフェ、創作活動、講師を招いての講義などさまざまな行事を行う。なお、2年度における重点目標としては下記を掲げる。 【伊野】集いの参加が少ない神谷・三瀬地区での調査を実施し、ニーズを把握 【吾北】訪問を強化					
DO:実績 (事業内容等を記載)	コロナ感染症により、年度当初の4・5月や冬季において集いやその他のイベントが中止になったが、遂行できる事業については感染予防に努めながら、実施することを心掛けた。 ・集いの中止期間中は、マスクを作り、体調や困りごとを伺う訪問活動を実施 ・集いの実施期間中は、時間を短縮、かつ原則として飲食を禁止しながら、集いを継続 ・男性の集いなど屋外活動が可能なグループは菜園作業やウォーキングなどを実施 なお、上記で重点目標としている、ニーズ調査の実施や訪問の強化については、各センターが実施できた。					
CHECK:分析	コロナ感染症により事業活動の制限を受けたが、制限を受けた中でも出来ることを模索し、実施できたことは良かった。また、重点目標として挙げた各センターの実績に対する分析は下記のとおりである。 【伊野】神谷・三瀬地区でのニーズ調査により、集いの参加が少ない理由として、すこやかセンターまで遠いことが多く挙げられている。よって、身近な地域において何らかの活動を充実させるのが良いのではないかと考えられるが、その方向性を決めることが必要。 【吾北】訪問件数は前年度に比べ増加しているが、体調や生活状況の確認が主となっており、住民の声が聞けていないので、R3年度への課題とする。					
ACTION:今後の対応	【伊野】神谷・三瀬地区における集いのニーズ調査(R3年度も継続)を受けて、こういった形で当地区の活動を行うか、R3年度中にその方向性を決める。また、高齢者に偏りがちな活動を障害者や引きこもりがちな若年層に向けての居場所作りや活動とすることをR3年度の課題とする。 【吾北】訪問において、住民の声が聞けていない状況を改善するために、民生委員児童委員協議会と連携し、新たな方への訪問を実施。また、他方面において、新たな団体や地域での支援を強化していくことも目標とする。					

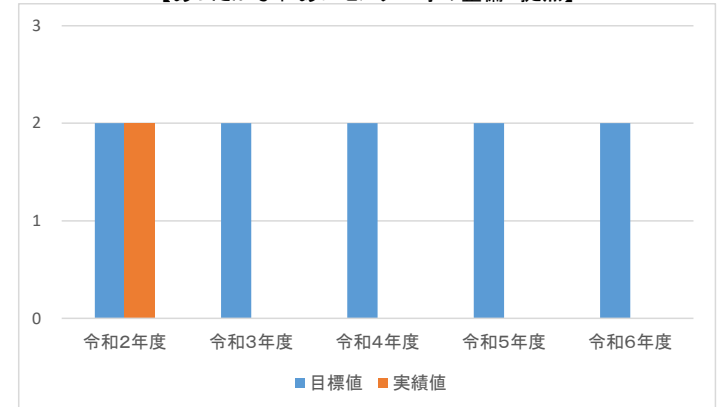
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【あったかふれあいセンター等の整備 拠点】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4

連番	3
----	---

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(1)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
	①	小さな拠点の開設・強化				
項目	★	あったかふれあいセンター等の整備 サテライト				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
ほけん福祉課	★あったかふれあいセンター等の整備 サテライト	3	か所	3	か所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	3	3	3	か所
実績値	3					か所
目標に対する達成率	100%					複数年度目標
基準値に対する増減率	0%					
評価	○					
PLAN: 取組内容	吾北地区における3地区の特性を把握したうえで、サテライトならではの様々な課題に対応できる活動を目指す。ニーズ調査において下八川、三水は地域の集まり(体操等)が少ないという声があったことを念頭に置き、介護予防の体操や創作活動などを行うと同時に、買い物支援など生活支援も行っていく。 また、高齢者のみならず、子どもの集いをサテライトで同時開催し、世代間交流するなど、高齢者が孤立しないような活動を行っていく。なお、令和2年度はコロナ感染症により、開催が中止された時期があったが、実施期間においては感染対策に努め、事業を実施した。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	「集い」「訪問」「相談」「つなぎ」「生活支援」「交わる」について、各事業を実施。集いの場へ自力で参加できない利用者については送迎を行った。 【サテライト清水】 実施場所: 清水公民館/日時: 毎月第1・3火曜日 11:30～16:00 開催回数: 15回(R1:21回) 【サテライト下八川】 実施場所: 下八川公民館/日時: 毎月第2木曜日 13:30～15:30 開催回数: 9回(R1:11回) 【サテライト三水】 実施場所: 三水防災コミュニティ/日時: 第4木曜日10:00～12:00 開催回数: 8回(R1:10回)					
CHECK: 分析	コロナ感染症により活動の制限があったが、感染対策に努めて事業を実施できたことは良かった。 出張型集いを行うことは送迎時間が短くなることであり、車中の滞在時間が短く、感染症が流行している時期にはこういった地域出張型の集いの意義が一段と強まった。					
ACTION: 今後の対応	吾北地区という中山間地域の中でもさらに距離が遠く、拠点(高岩)までの送迎時間が30分以上かかる過疎地域において、サテライトだからできることを模索しながら、事業を継続していきたい。					

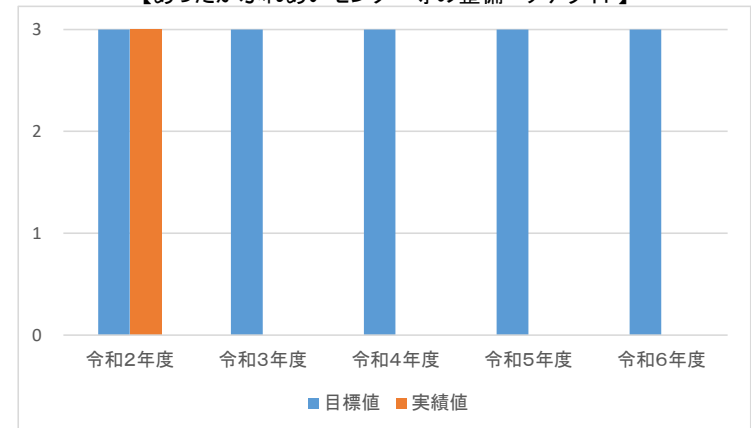
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【あったかふれあいセンター等の整備 サテライト】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4

連番	4
----	---

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(1)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
	(2)	中山間地域の資源や特性を生かした産業づくりの支援				
項目	★	本川地区の路線バス維持に向けた雇用				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
本川住民福祉課	★本川地区の路線バス維持に向けた雇用	3	人	3	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	3	3	3	人
実績値	4					人
目標に対する達成率	133%					
基準値に対する増減率	33%					
評価	◎					単年度
PLAN: 取組内容	市町村有償運送事業(長沢～寺川間・長沢～大森間)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	会計年度任用職員を中心とした4名での体制により、円滑なバス運行がなされた。					
CHECK: 分析	地域住民にとってバス路線の存在は、単なる移動手段にとどまらず、安心して地域で生活していく心のゆとりにつながり、有償運送事業による路線バスの維持は、非常に大きな意義がある。 また、それを担う運転手の雇用により、居住者の定着につなげることができ、ひいては地域の活性化に寄与することもできる。					
ACTION: 今後の対応	高齢化により運転が困難になったり、運転免許証を自主返納される方も増加するなか、受け皿となる交通手段として有償運送事業を継続し、今後は本川地区全体を見据えた公共交通の在り方を検討していく。					

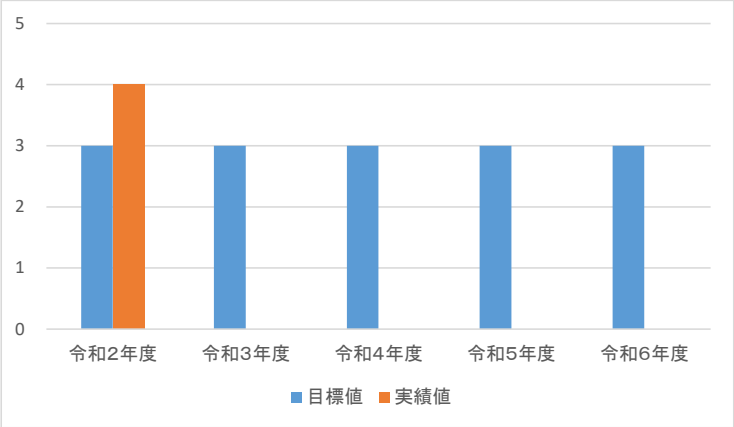
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【本川地区の路線バス維持に向けた雇用】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	◎ 目標値以上